



藤原真楯公笏之形

中二寸五分

長三寸四分

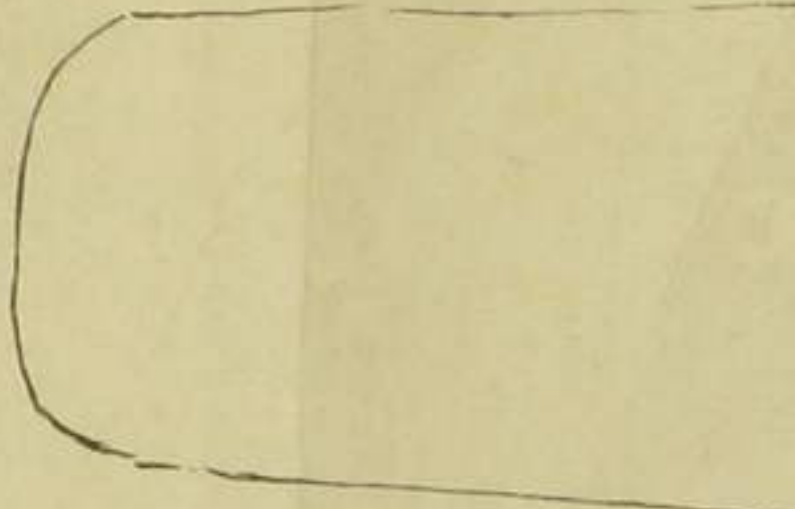


一寸五分

三野國三浦香波所藏之圖寫之慶應三年七月







一寸五分

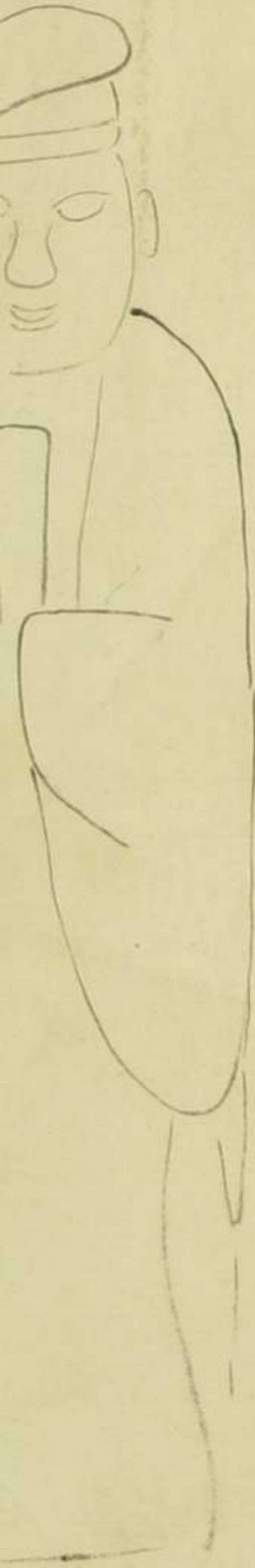
三野國三浦秀波所藏之圖寫之慶應三年七月

三野國三浦秀波所藏之圖寫之慶應三年七月

當社  
右職之文字

上二條之圖在

壹尺二寸程



卒



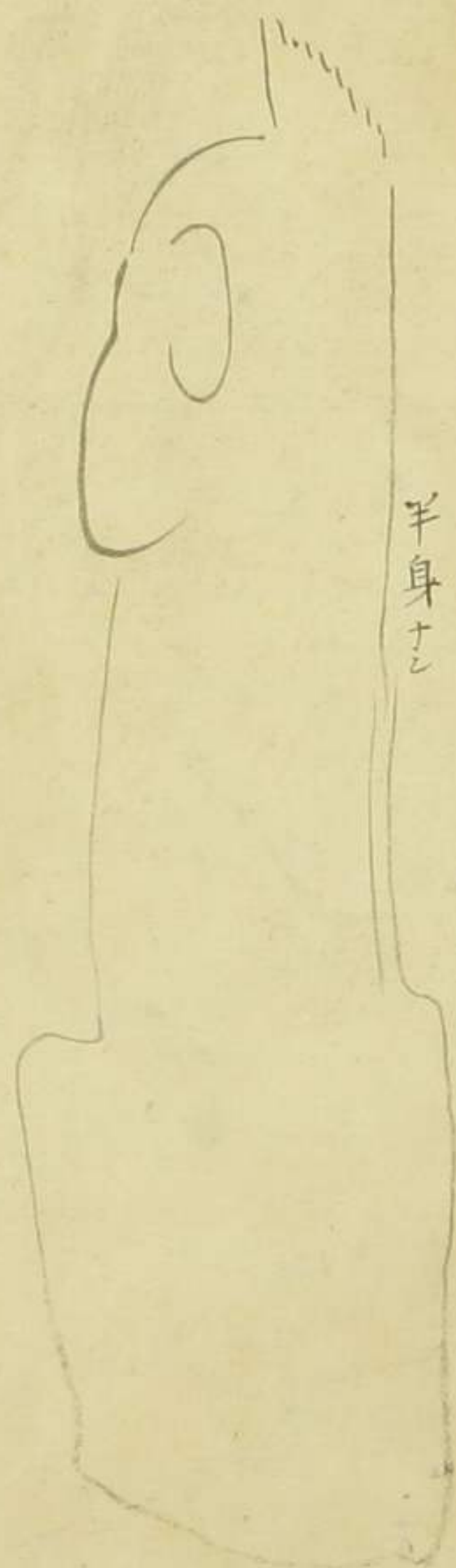
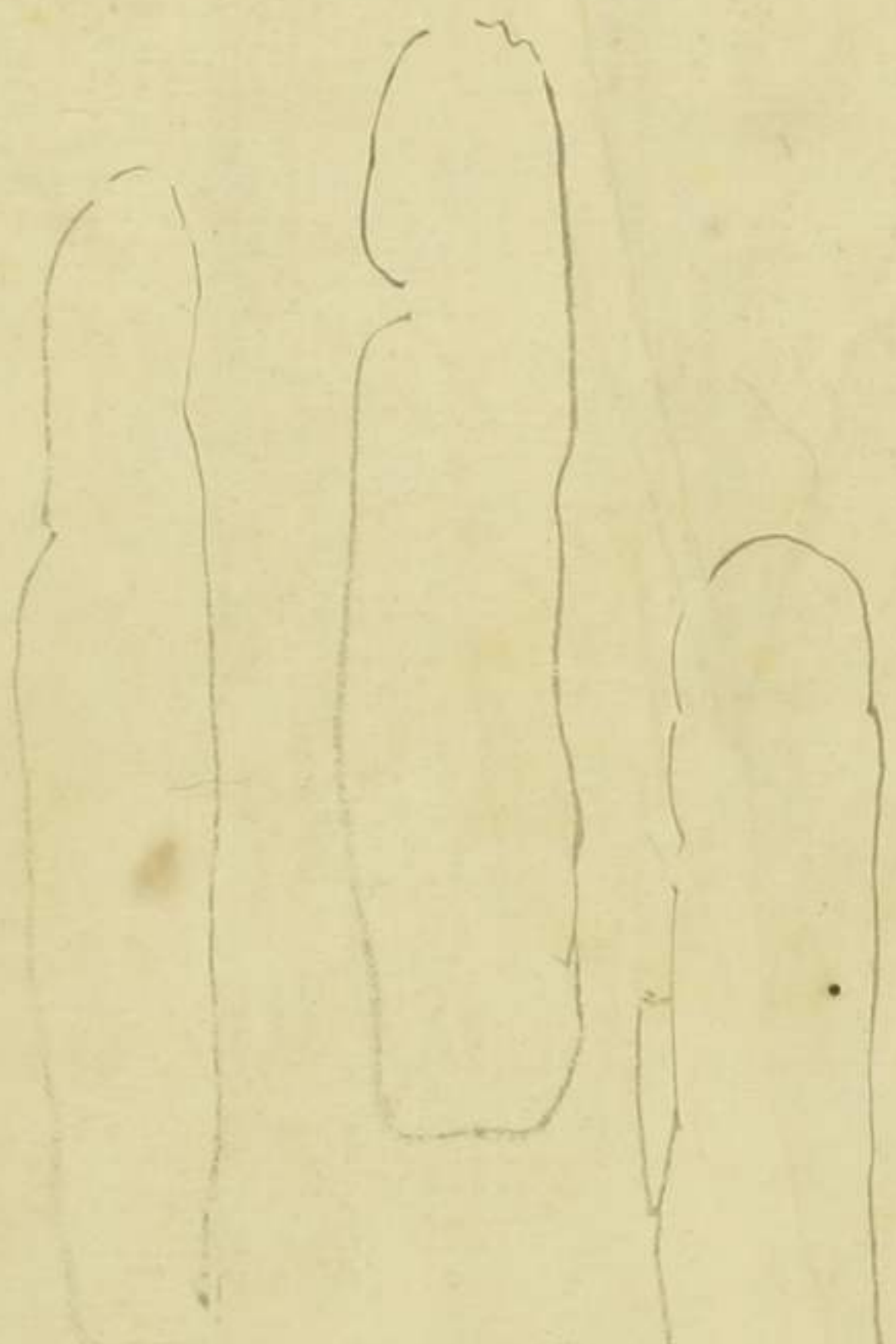


穴深一寸

九寸七分

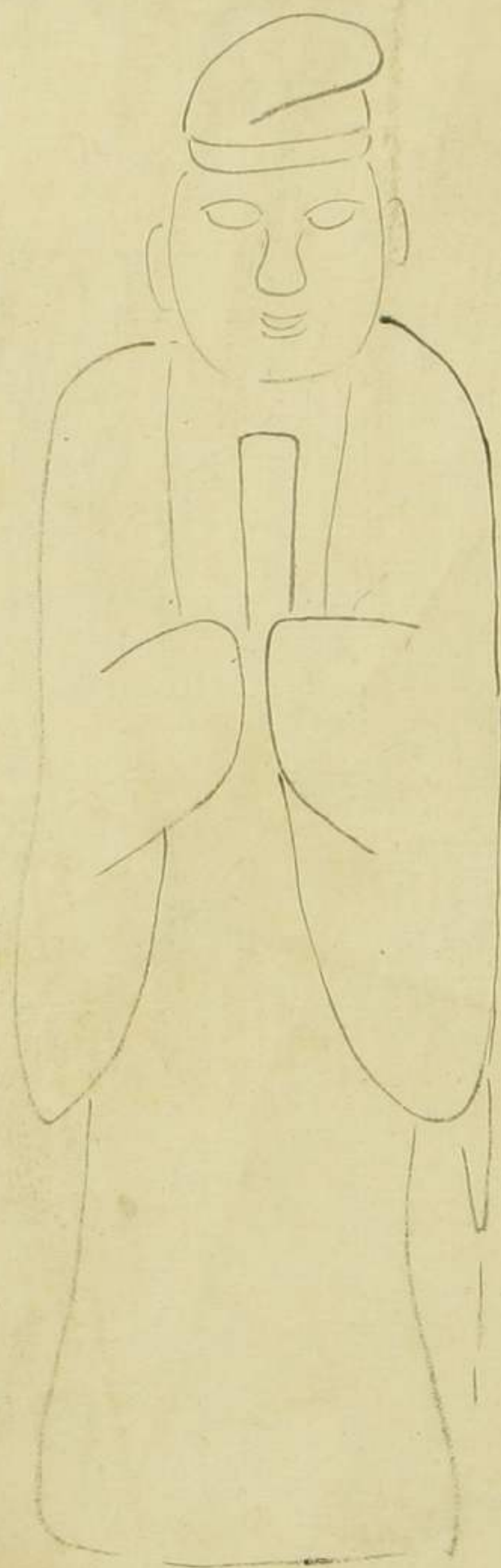
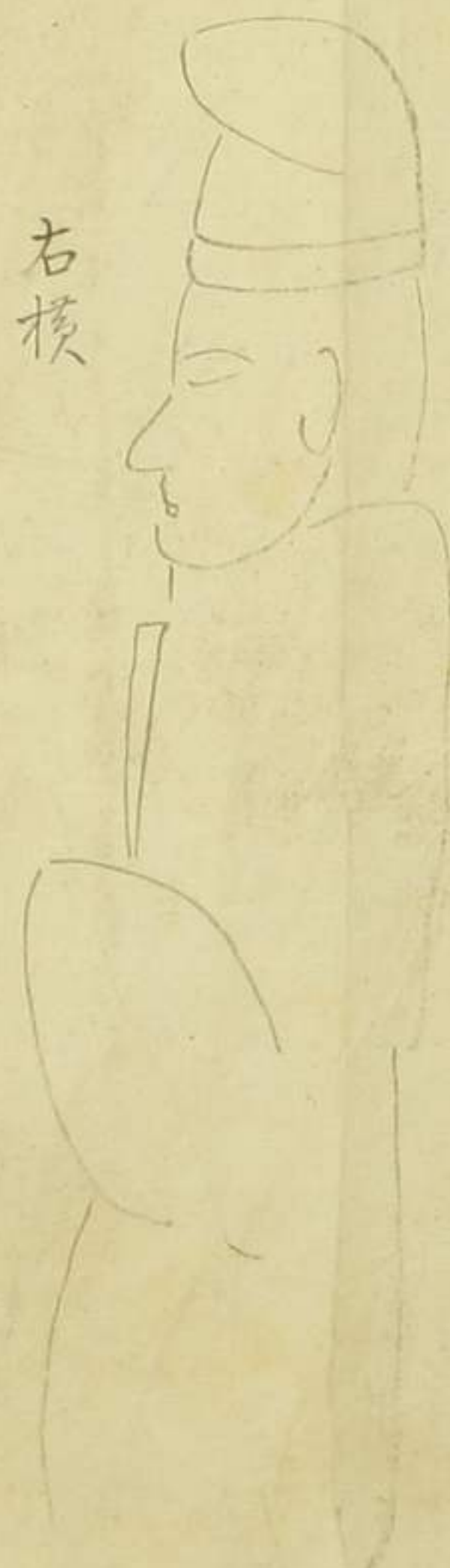
古昔數十鉢在之今五鉢三残レリ

右四鉢虫喰



半身寸

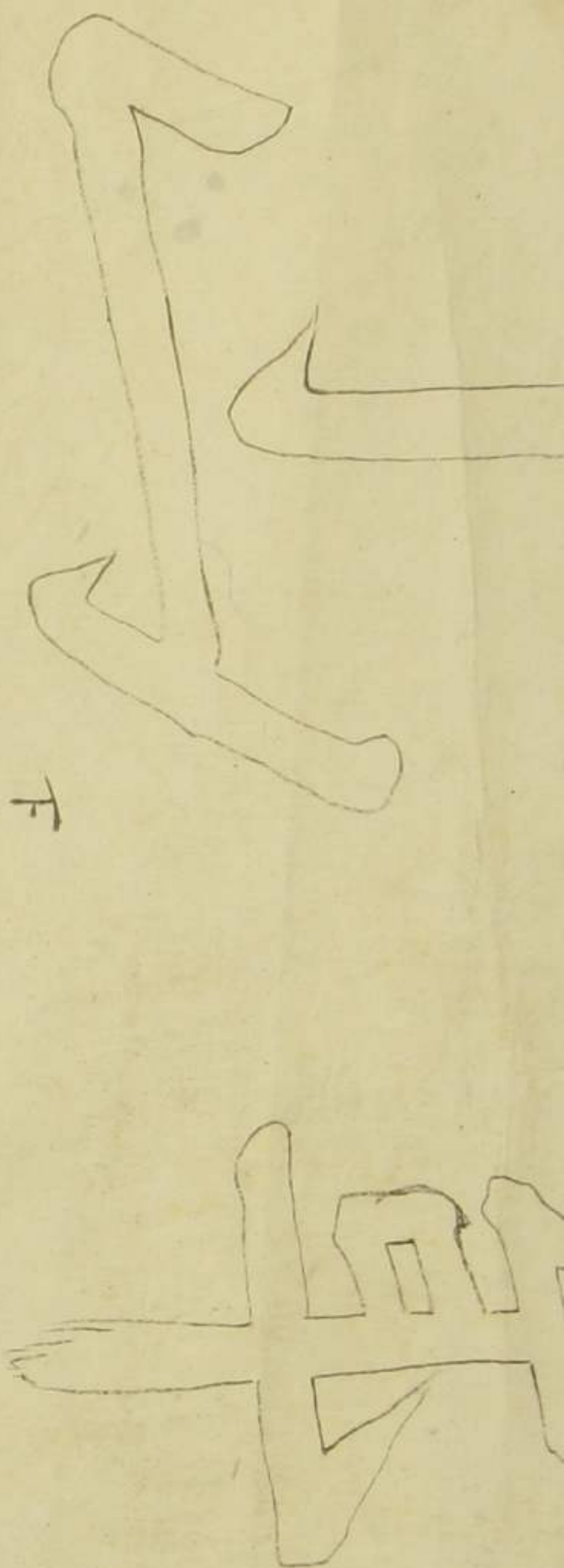
右模



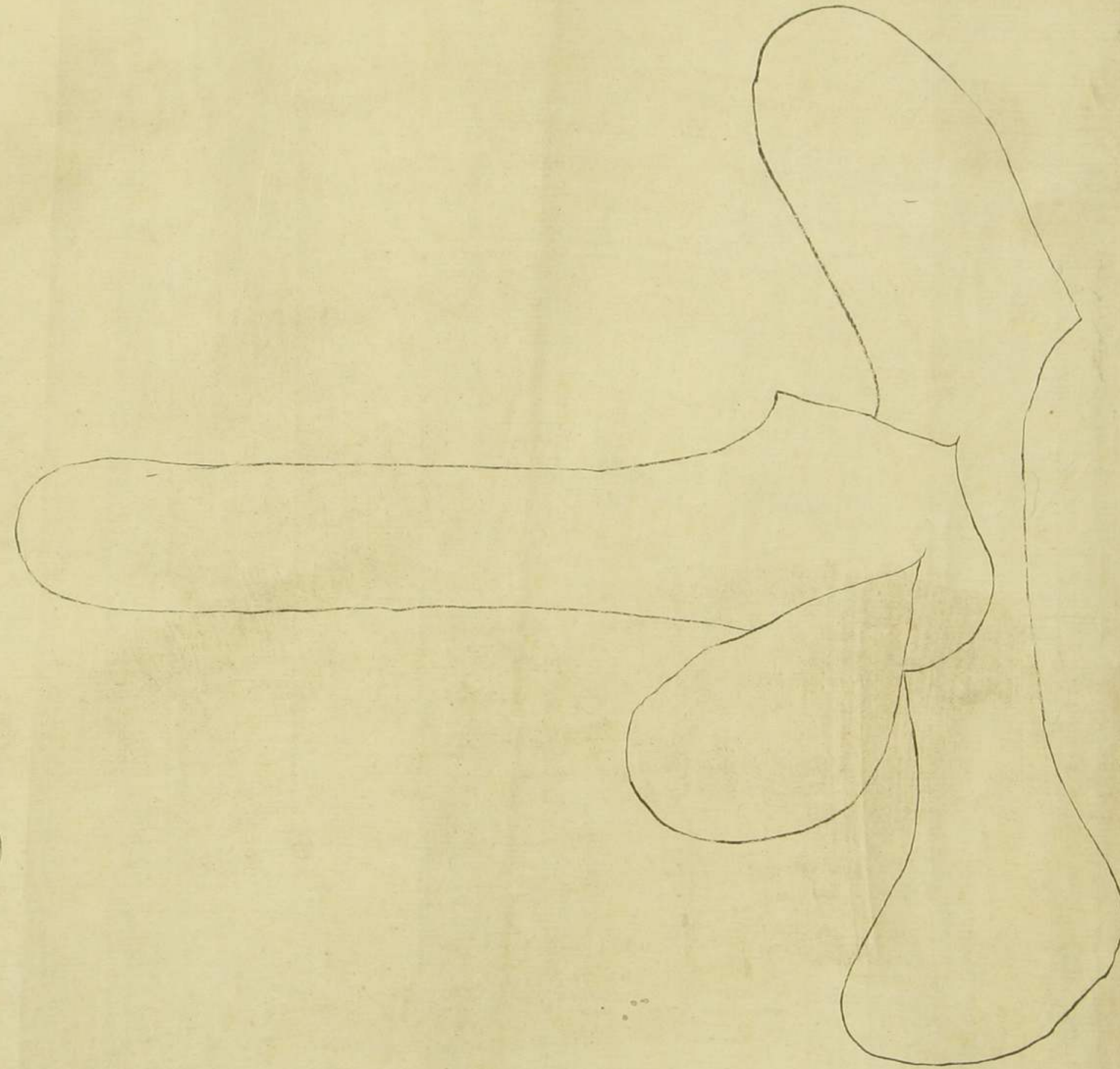
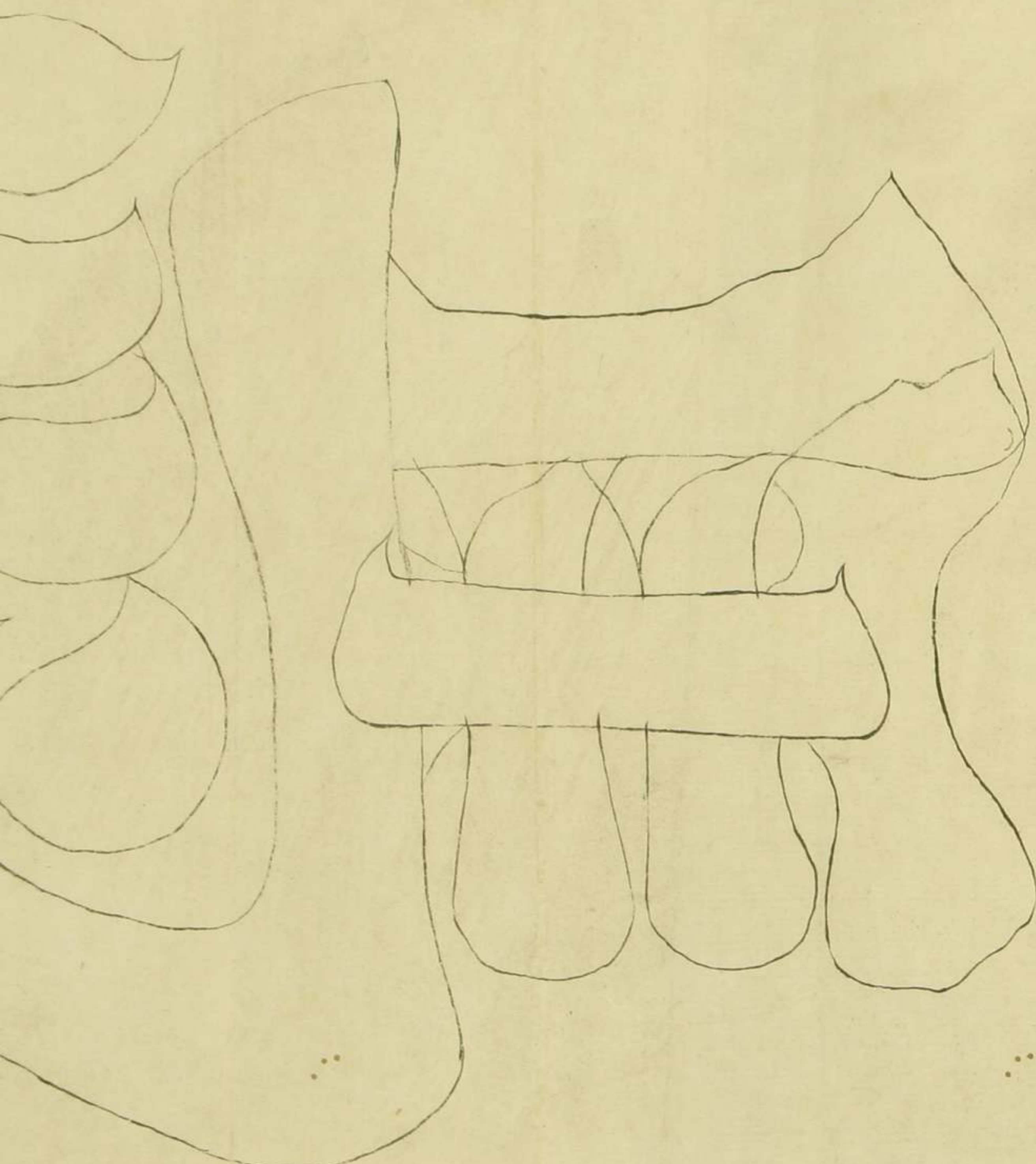
壹尺二寸程

右<sup>當社</sup>熾之文字

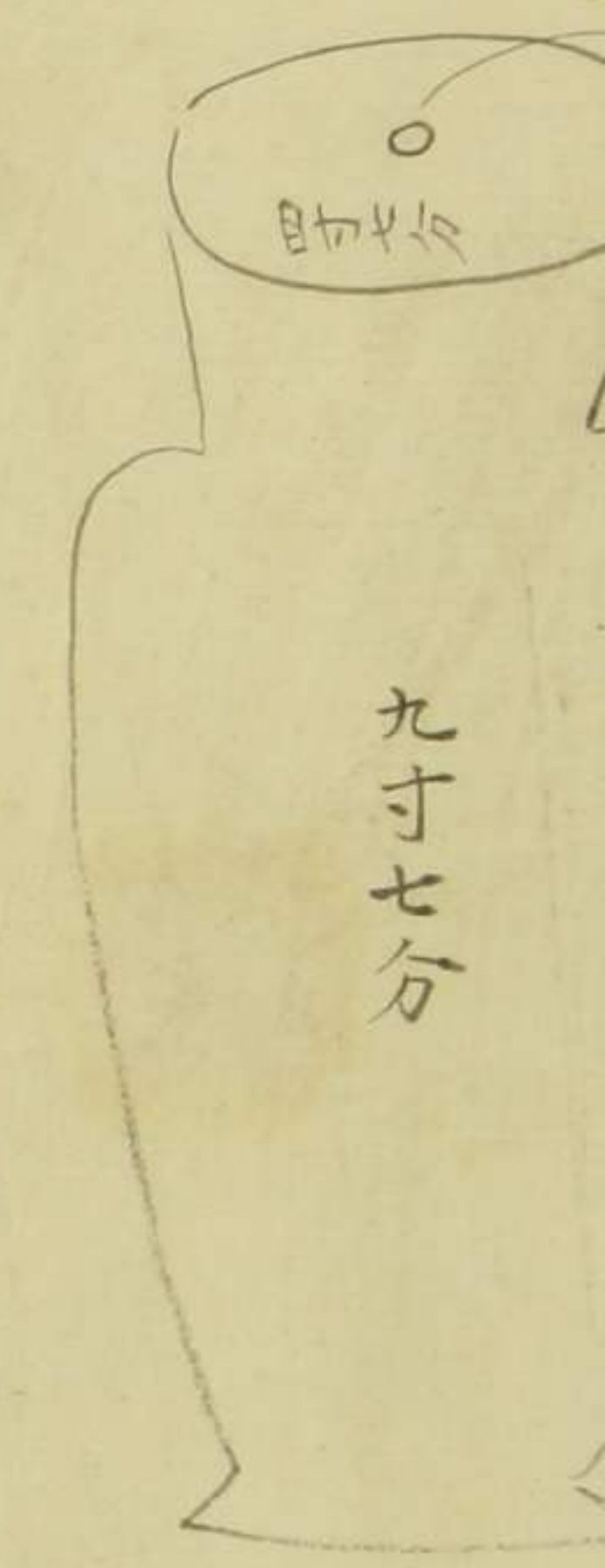
下二熾之圖在







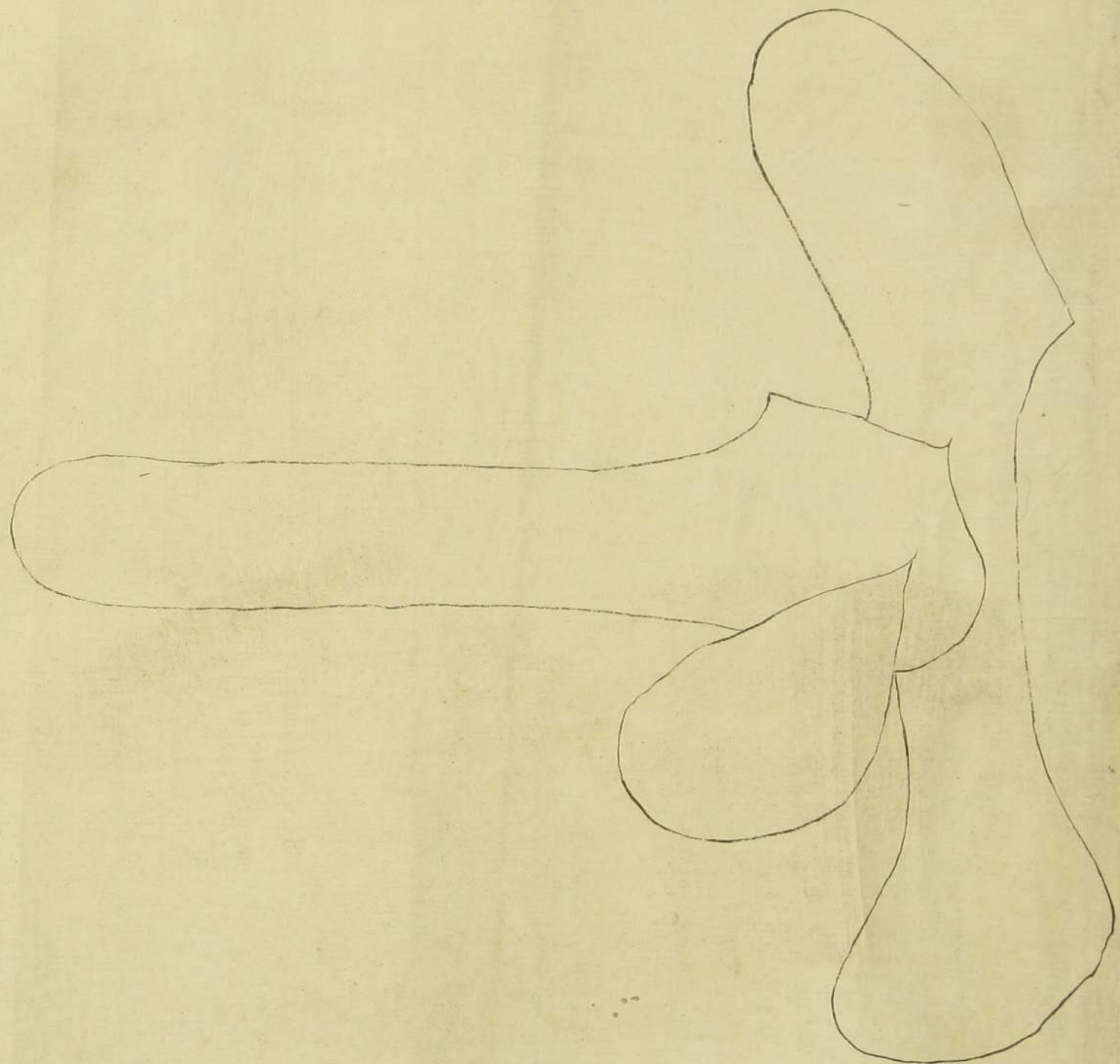
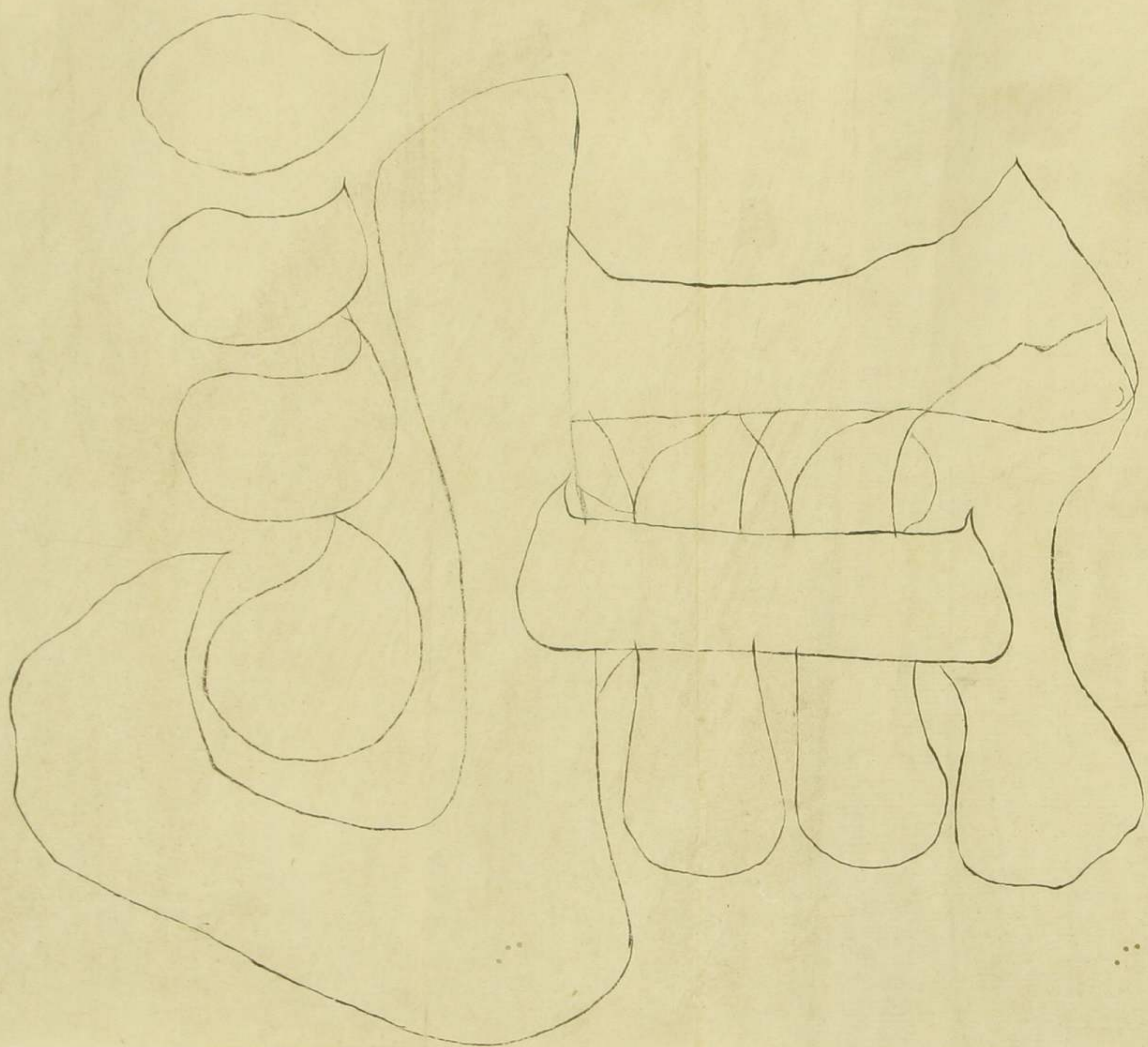
二ツケヤ木造ル



九寸七分



一寸九分



直二廣一竹藏  
坊傳云此飛草圖



一寸九分

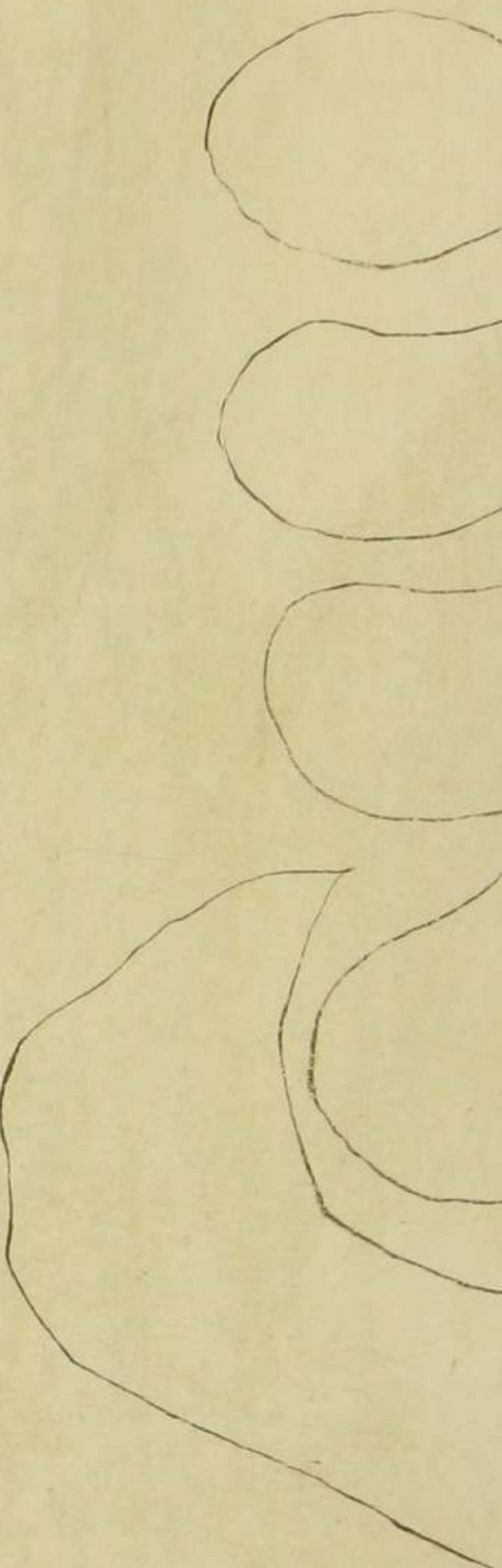
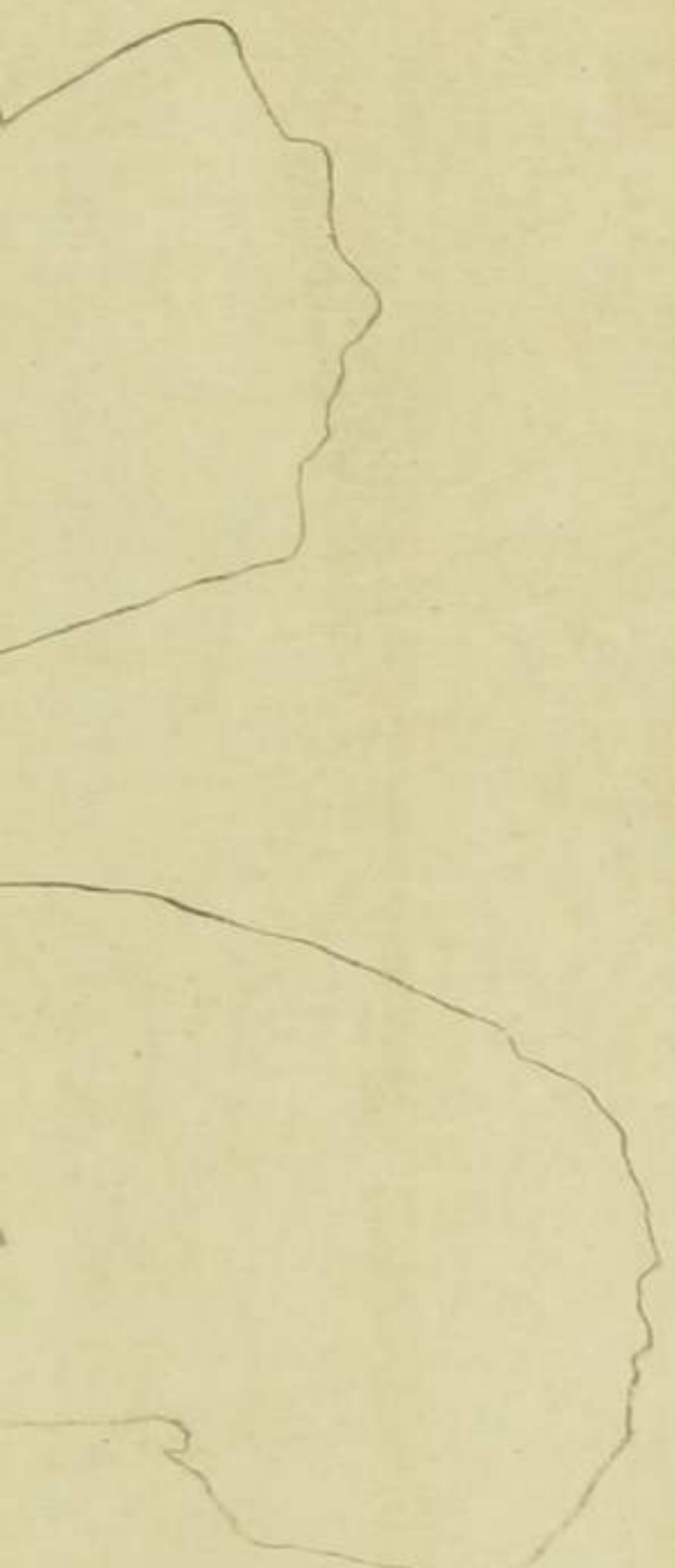
一寸四分

一尺四寸二分五厘

四寸四分

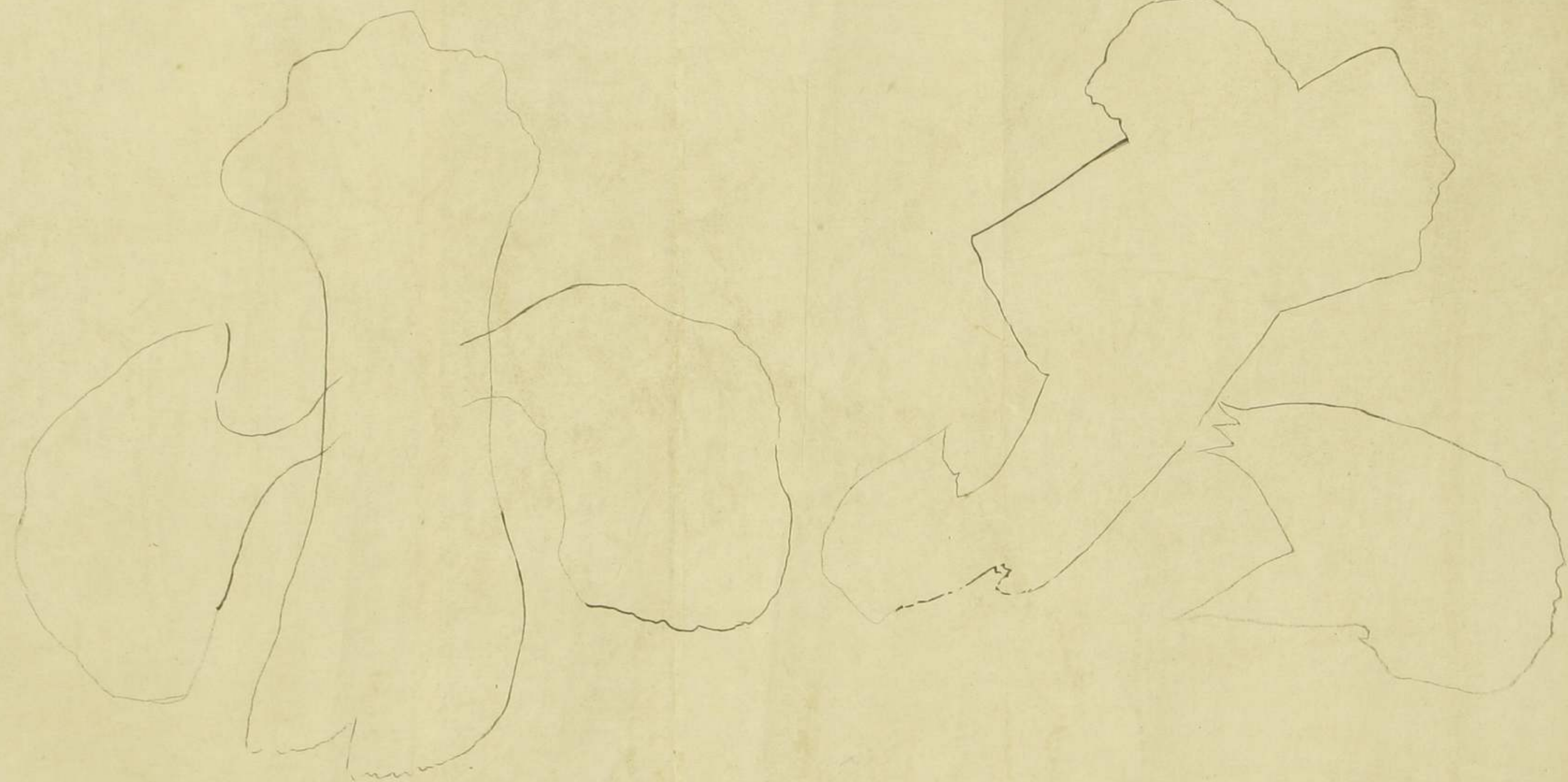
横三寸

直二廣一竹藏笏傳云飛潭國  
ヨリ 朝廷江奉ト云





瀬良廣保寫本傳云菅公御書也



一寸四方





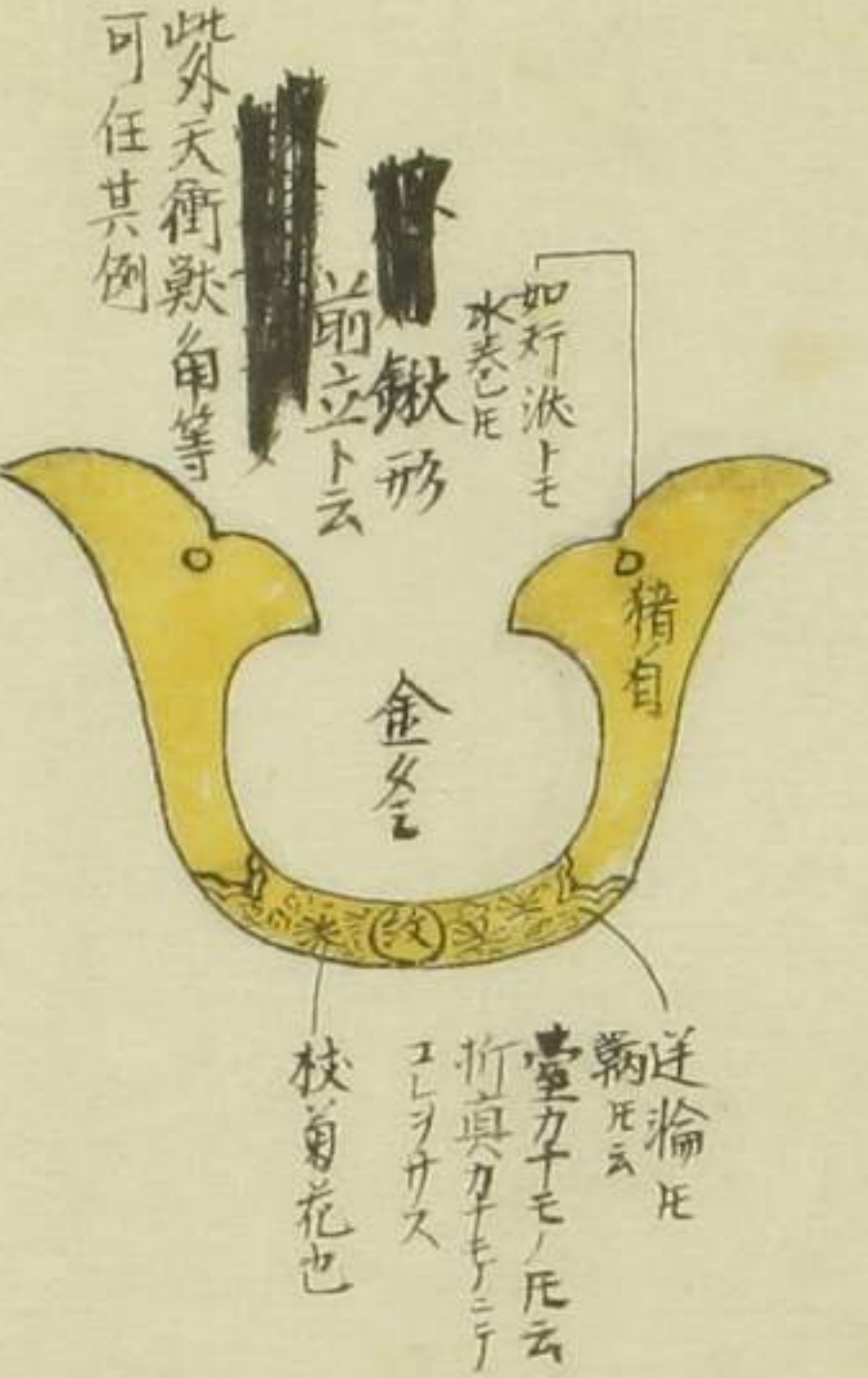




御板立  
角木片  
白光目釘  
烈勢ノ銀イモリ頭片  
眉花正面正平峰ニ或ハ縁草所  
大フキニ此ニシテシテコト云アリ  
大吹返製作作シテコト云アリ  
小キシコト下ル造リヤウヤリ函入ノ  
傳トス圖 裏ニ四各ス

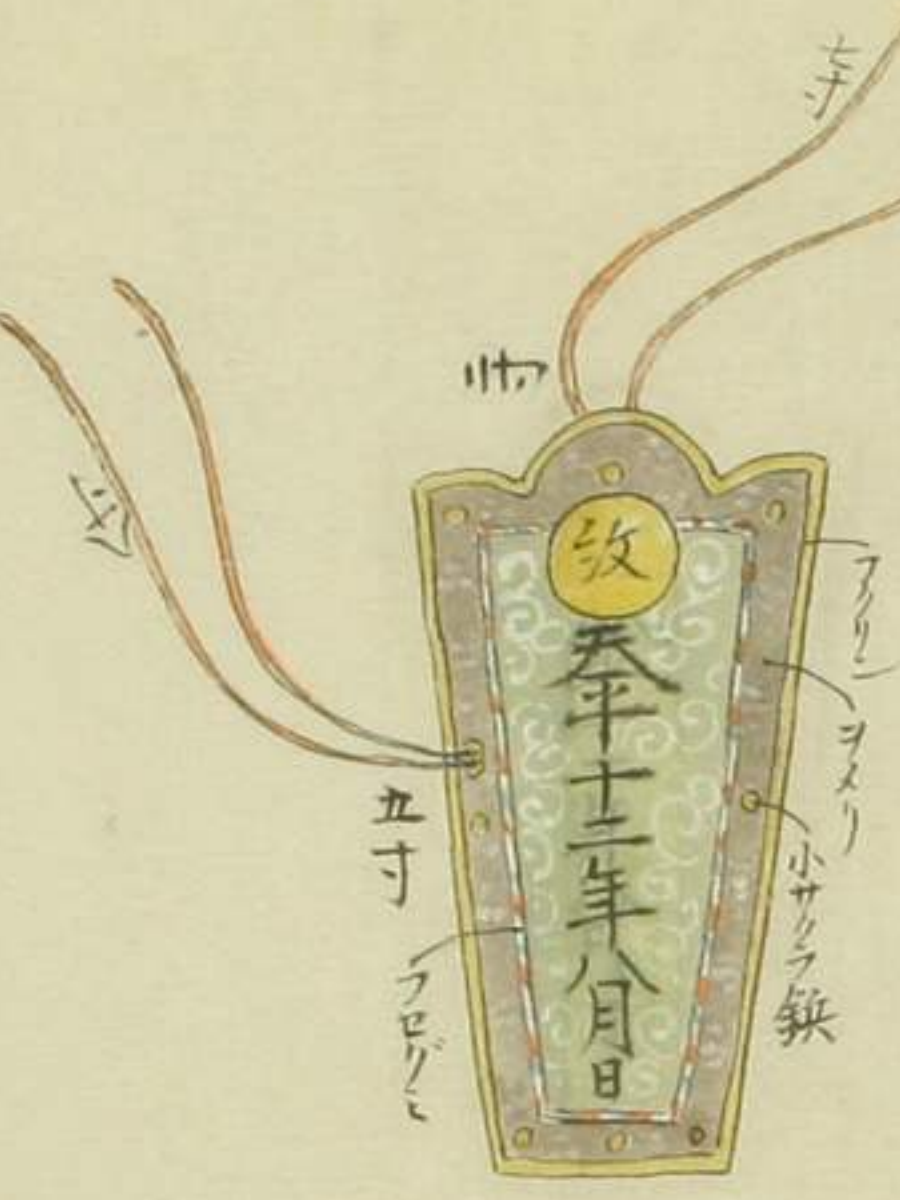
内背ト云 諸張有刃緒胸所  
根緒ト云 三股白糸四所付有

頬

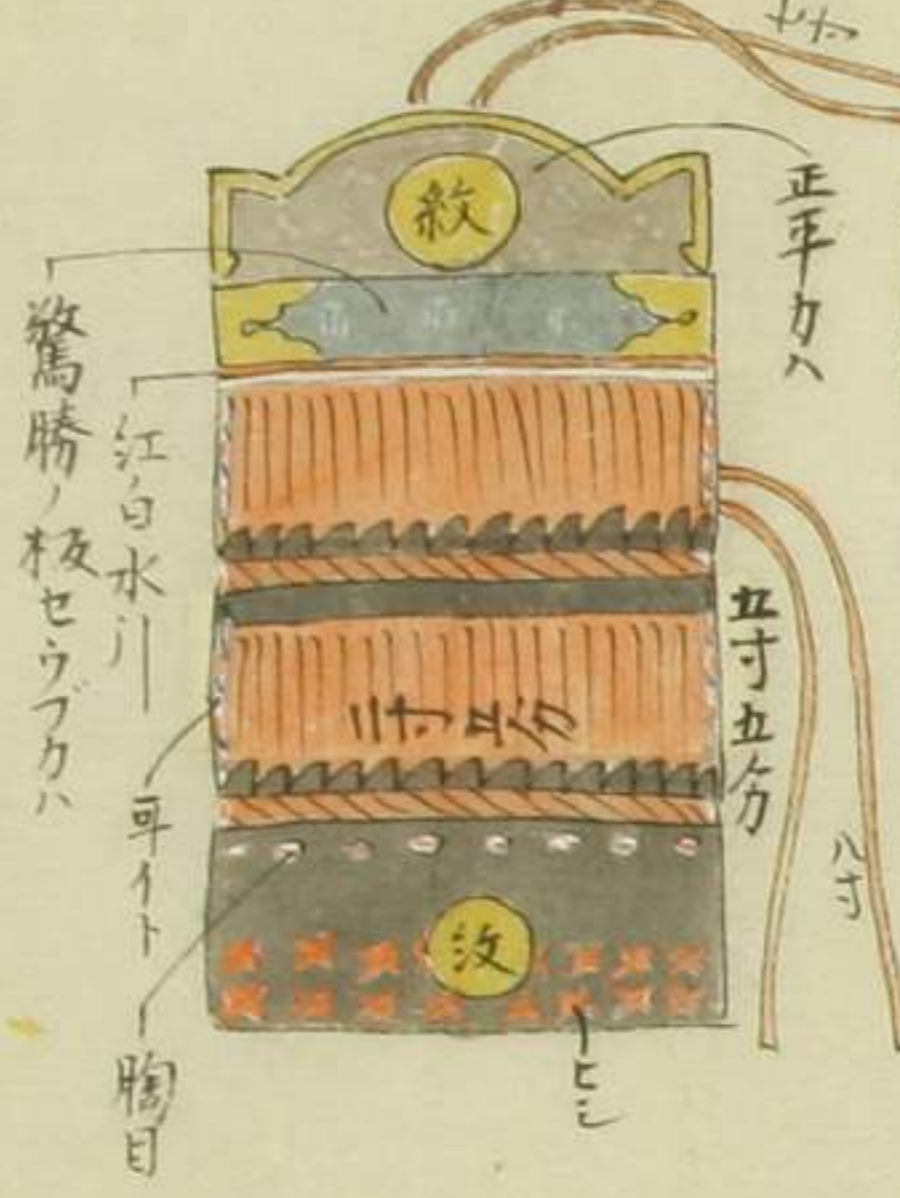


面花九ノウマウ  
造ルナリ

身甲之九ニ著之  
小手輪之板  
口傳百



梅檀  
之板  
身甲ノ右著之口傳



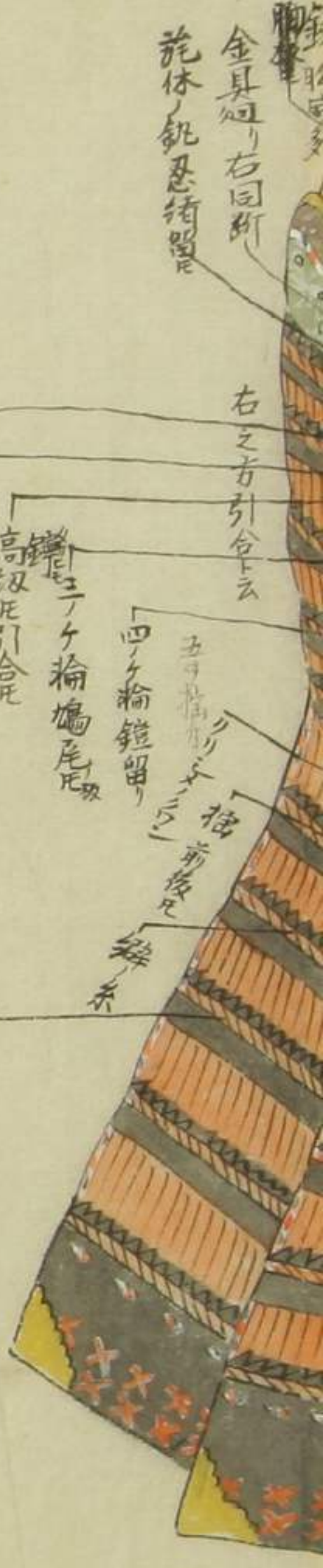
神功皇后三韓征伐之時臨幸正月鏗脇  
不合ヨリテ武内宿禰カシラテ天宮  
遷移ヨリテ一ノ有之別衣也







金具廻り右回折  
泥休、鈍忍緒留



右之方引合云  
五ヶ輪留  
四ヶ輪留  
高級引合  
二ヶ輪ハシリ  
一ヶ輪前惣名  
弦走ト云  
毛糸

産着

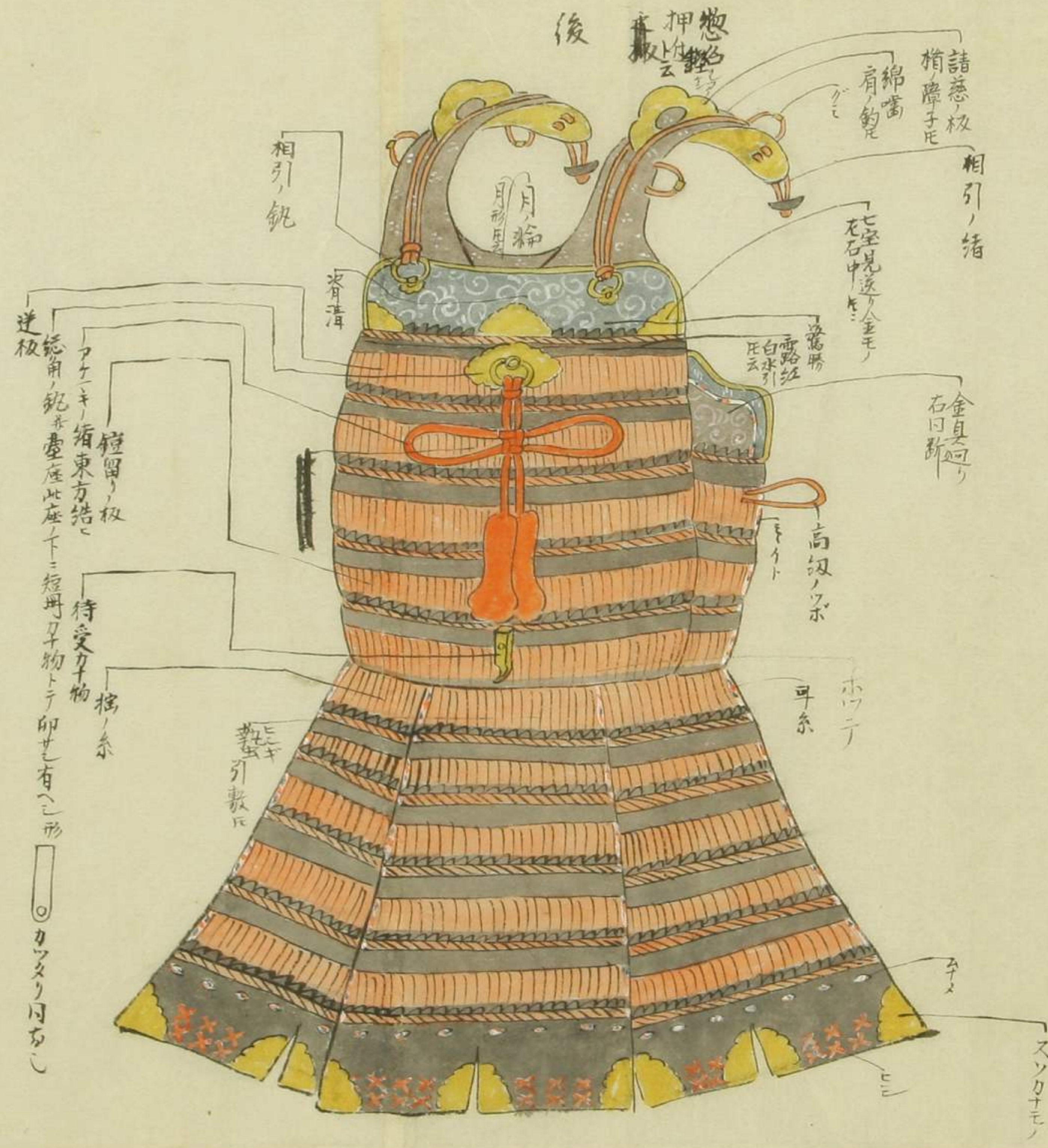
鎧下ニ著之也小具足或襟廻リ云云鎧板カ子ヲ入ルニ有  
鐙ヲ著ルヤウシクニ有地錦全纏色々母ニ任スヘシ



信玄産着者氏云  
ニナクハ云是ハ  
小キヲサシテ小具足トシ  
早著ノ至有鎧トスルニ  
ヨロシ

脇楯

神功皇后三韓征伐之時産月ニ臨キイ鎧ノ腋不合ニヨリテ  
武内省祿刀鎧ノ袖ヲ以テ天皇ノ脇ニ當ニ是ヨリ此創製始ル



諸慈板  
相引ノ緒  
綿當  
肩釣  
七宝見送金毛  
石中  
金具廻り  
石臼斷  
高級ノツボ  
ホウテ  
早糸  
スソカチモノ  
後  
惣名  
押名  
相引、鈍  
水骨清  
露筋  
白糸引  
モイト  
三ヶ輪  
引敷  
待受カノ物  
櫛ノ糸  
アケキノ箱東方結  
能前、鈍、赤、座、此座下ニ短冊、刀、物、トテ印セ、有、ハ、形  
逆板

奥袖

大祖傳氏女或指板ニ至法  
九著之右ニ著トイヘリ  
今世惣テ著左右



キヤウセウ  
赤路赤白水引氏  
中ハ隔ノ板氏云  
エリギノ板氏  
村摺ノ板  
巻ノ摺ノ板或白ノ板氏



















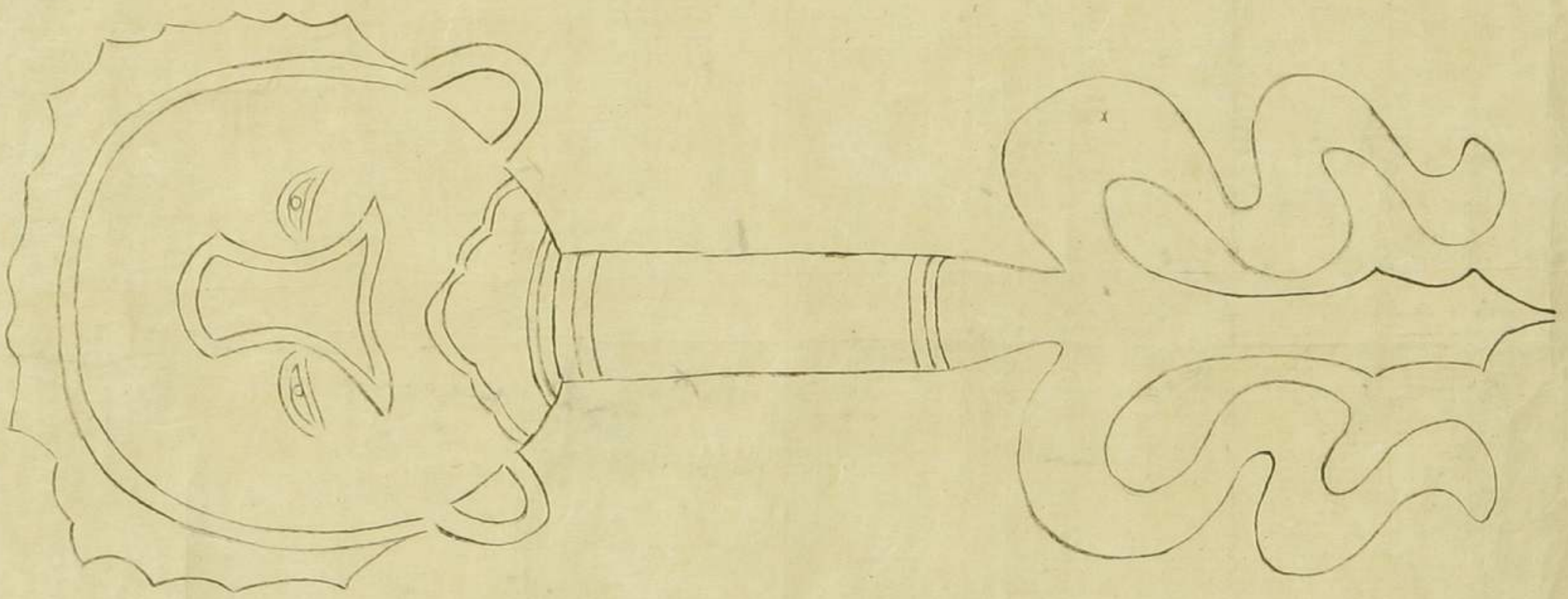
鏡トハ甲冑ノ惣名ナリ古法式正ノ鏡ヲ始トシテ近來平士  
 ノ具足モ悉皆鏡ナリ亦具足ト稱スルハ<sup>文治二年</sup>  
 兼合戦ノ時覺<sup>兼</sup>律師出立テ我ハ是具足妙相尊ナリト  
 云シヨリ以來甲冑ヲ具足ト云フナリ。腹巻ハ神功皇后ヨリ  
 始リ往古ノ軍將直垂ノ上前ヨリ掛ケ後ニ背板ヲ<sup>備</sup>  
 著具スト云リ。胴丸ト云<sup>文治</sup>建久ノ頃ノ言葉ナリ身甲ノ射向ニ  
 錯<sup>標番</sup>ナク右ニテ引合スル故<sup>等</sup>。胴ノ圓キヲ以テ尔云ナリ黒草綴ノ  
 胴丸大荒目筋繩目皆其威ニ依テ唱フナリ。今世何緘ノ具足ト  
 云フカ如シ。御著長トハ主君長者ノ鏡ヲ宗敬<sup>言葉ナリ</sup>  
 時御召ト云カ如シ<sup>依テ</sup>。我<sup>依テ</sup>御著長ト不云ナリ<sup>辨</sup>。

元文二丁巳年三月

各和源重皇圖之誌焉

古鏡大サ如圖平圓也

唐銅量 二百二拾文目



鏡 天慶二己亥年  
 三月廿一日

信濃國飯田南條村曹洞宗白鷄山彩雲寺振出  
 古物音 鐘倉権五郎景政開基寺同塚在之五輪表ニ地藏三方ハ  
 梵字ナリ

唐銅八角



保考ミ驛路ノ鈴ナルニ

高サ二寸六分

六四ツアリ

内ノ玉モ鈴

一体ハ口吟味ヲ遂ル水入



以內穴

唐銅ハニツ六ツ







信濃國飯田南條村曹洞宗白鷄山彩雲寺掘出  
古物音  
鎌倉権五郎景政開基寺同塚在之五輪表ニ地藏三方ハ  
梵字ナリ

唐銅八角



ニツ

保考ミシ驛路ノ鈴ナルヘシ

高サ二寸六分

内ノ玉モ鈴

六四ツアリ

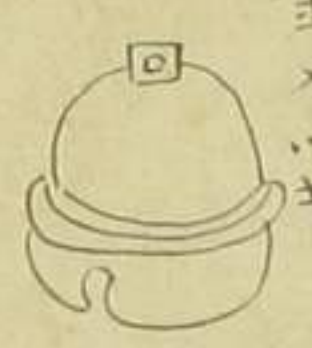
一体ハ口 吟味ヲ遂ルル水入ノ  
ヨシ申セ

唐銅穴ニツ 六ツ



一寸三分

金メツキ



七ツ

水晶



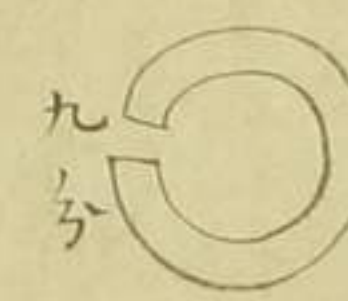
スヘテ 十二アリ

琉璃金銀アリ



同

金ムク

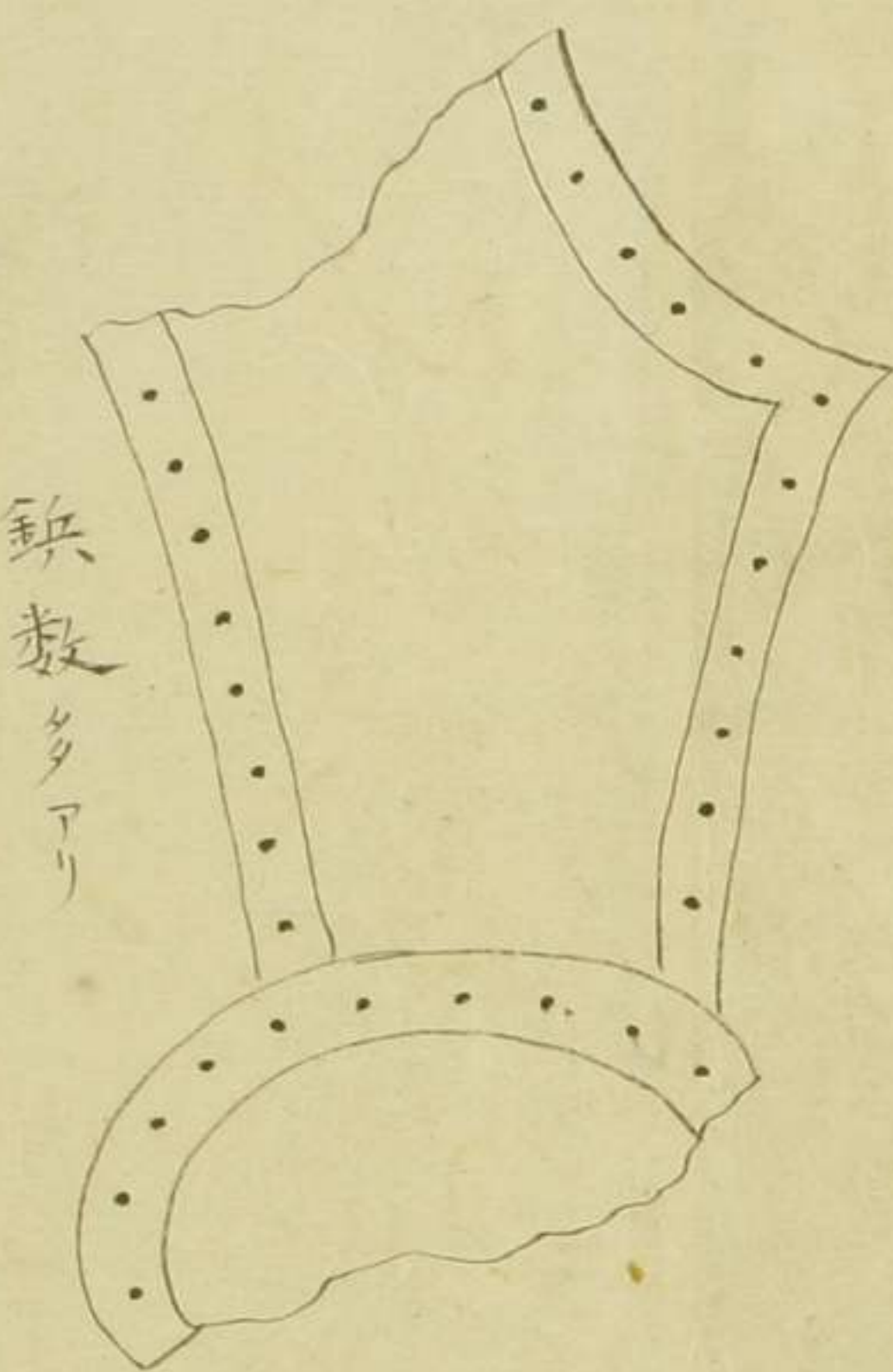
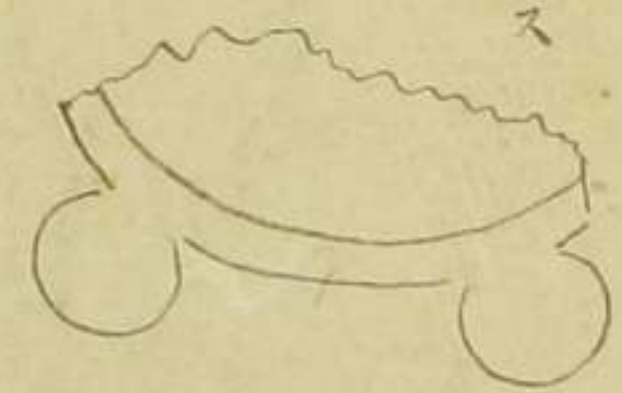
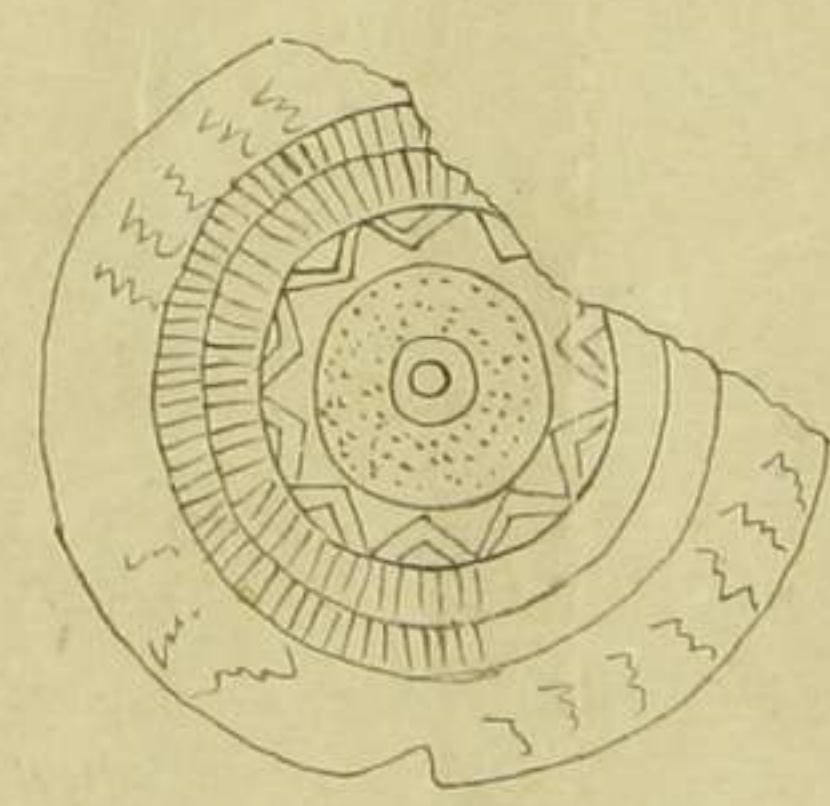


九分

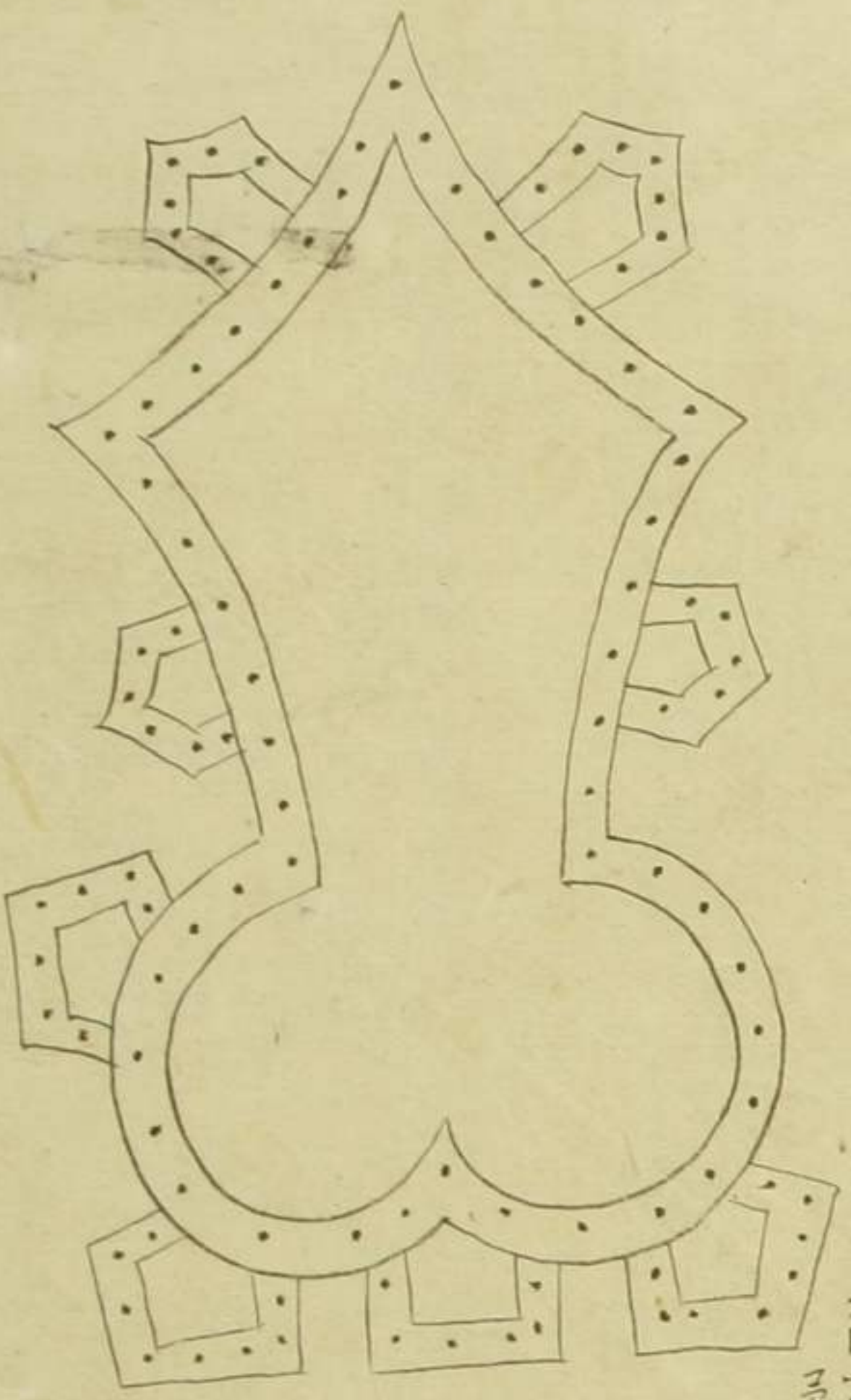


掛目三々 五ト

ヲ類ノ銀 鈴 附鏡ノワレ  
古モノモ 一トアリ  
本國吉木村ニテ 掘出モノ一枚ヲ藏ス



鉄敷 多アリ



鏃 三本



己ニ天同小異ナリ物本國春日山古墟ヨリ掘出セン  
三ノ秘藏セリイカレモノニヤ其所用ナ  
ミラズ

惣尺二寸三分

コレハ金メツキ

コレヨリ下鉄



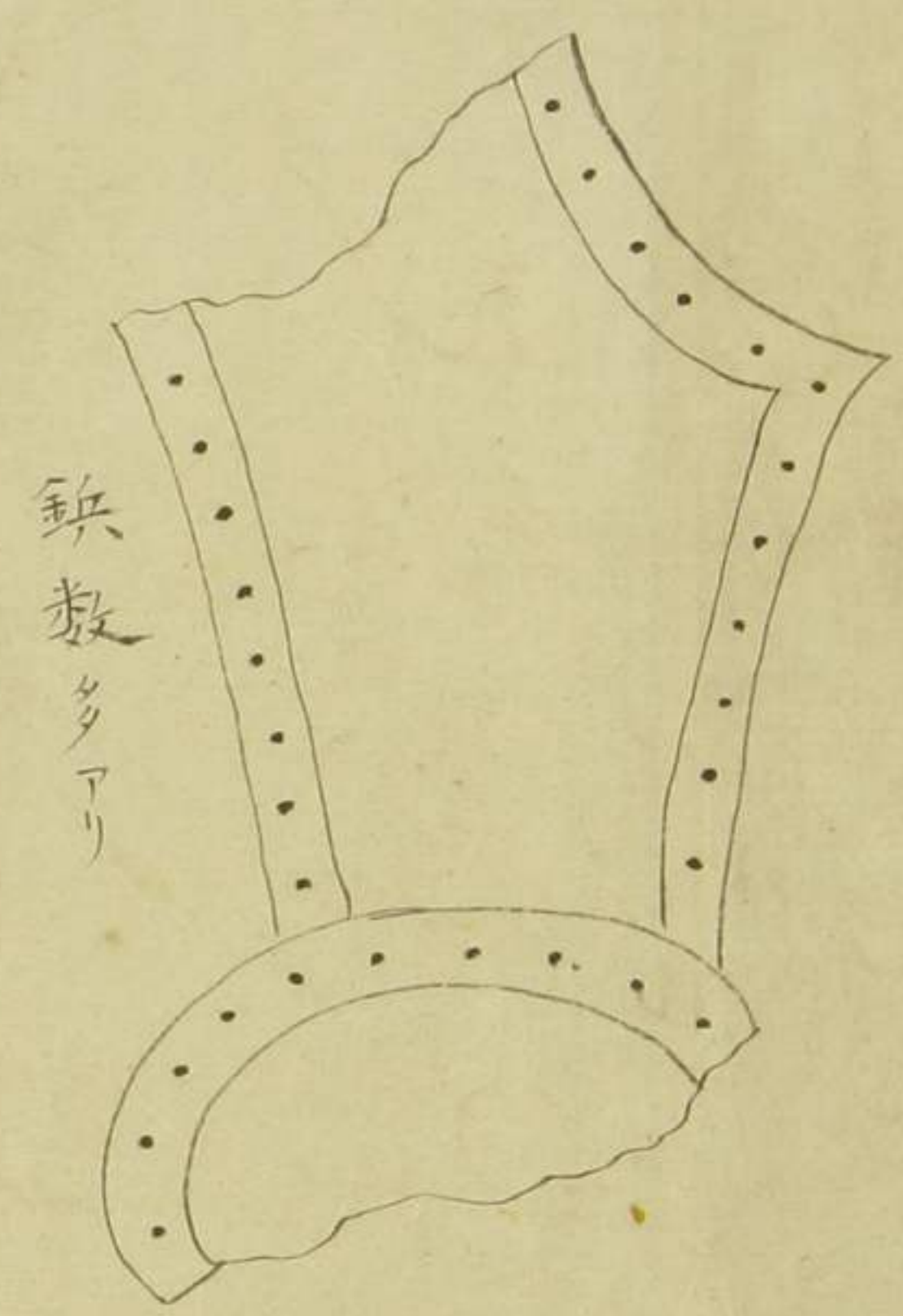
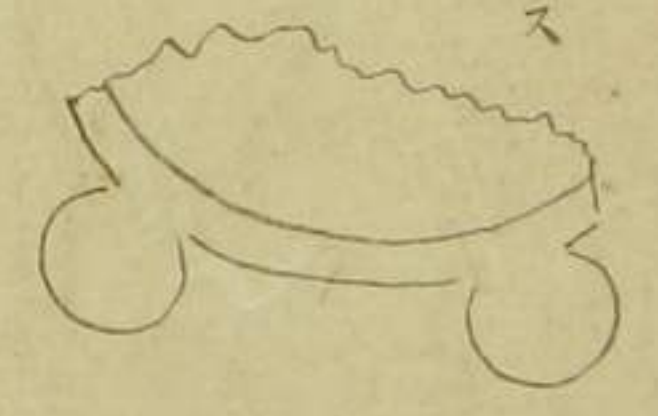
ガキ 41



カ子性  
シレス

同

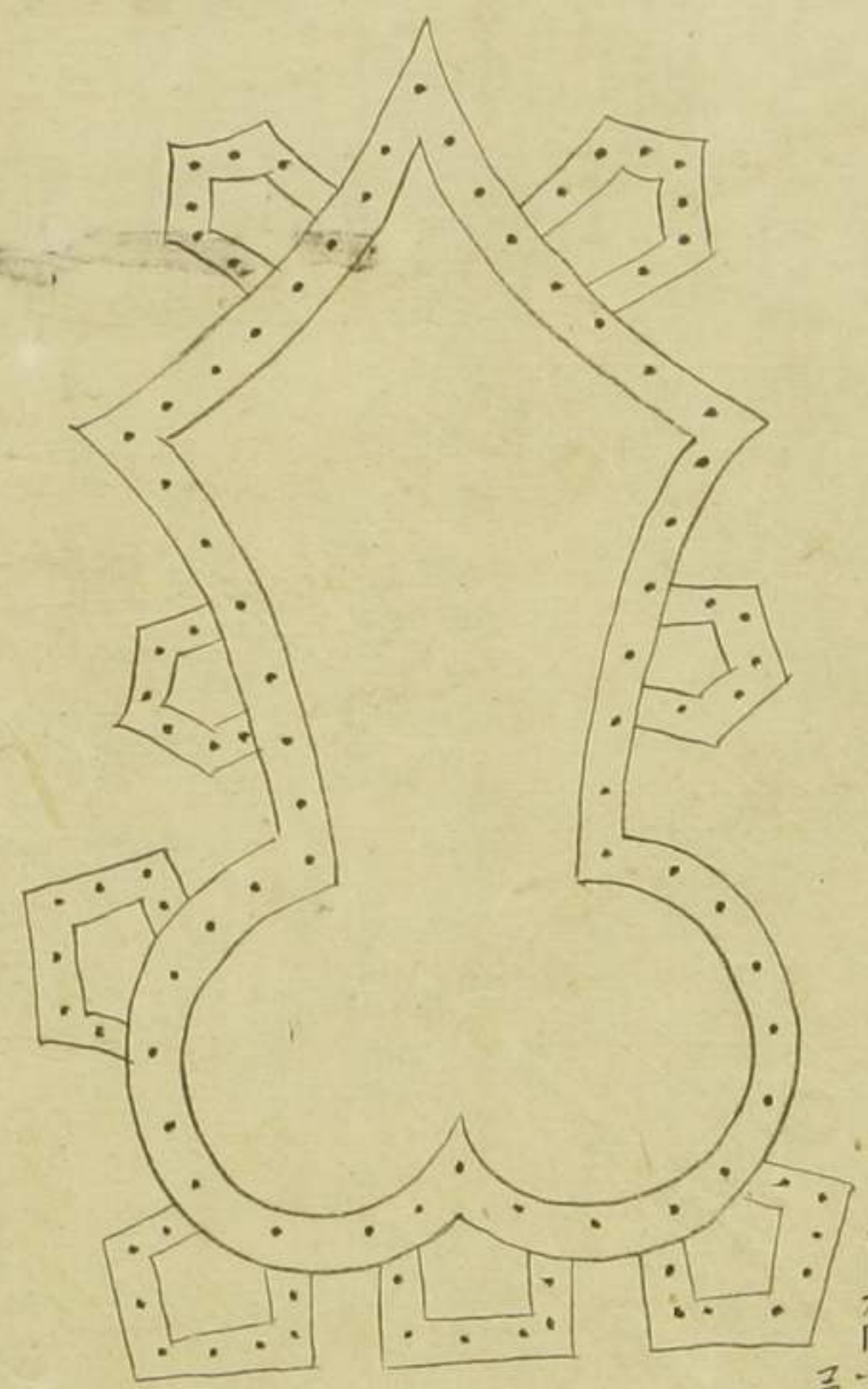
ヲ類ノ鏝  
古蓋アリ  
鈴附鏡ノワレ  
本國古木村ヲ掘出モノ一枚ヲ藏ス  
掛目三々五



鉄敷  
タアリ



物尺二寸三分  
コレハ金メウキ  
コレヨリ下鉄

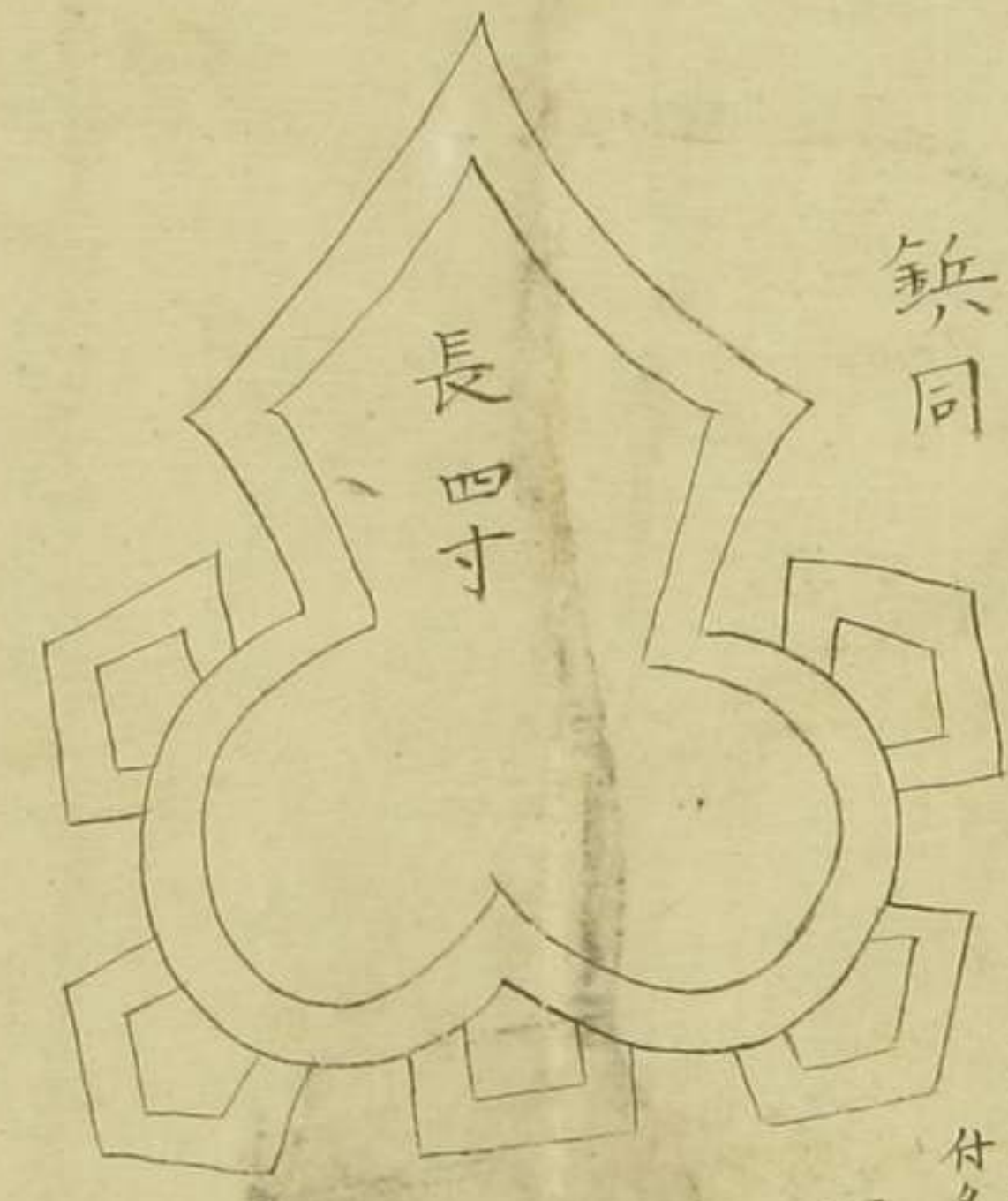


コレ天同小異ナリ物本國春日山古墟ヨリ掘出セシ  
予松藏セリカナルモノニヤ其所用ナ  
ニラズ  
鏝  
三本



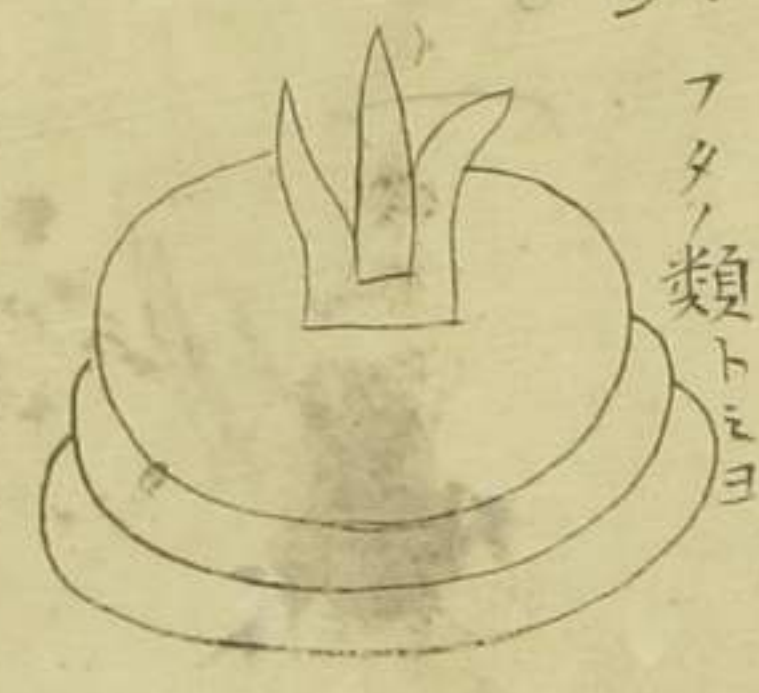
鉄同

此三物大同小異ナリモノ十三枚上野国郡馬郡保戸田村最光寺ニ掘出ス  
付タルモノ此皆鉄ナリヌニテ此品層層ノ鉄アリト思ハル

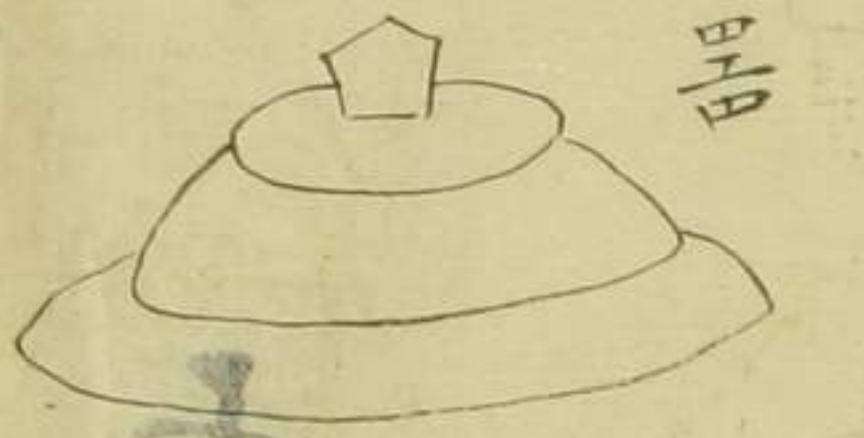


長四寸

鉄  
フタノ類トモヨ

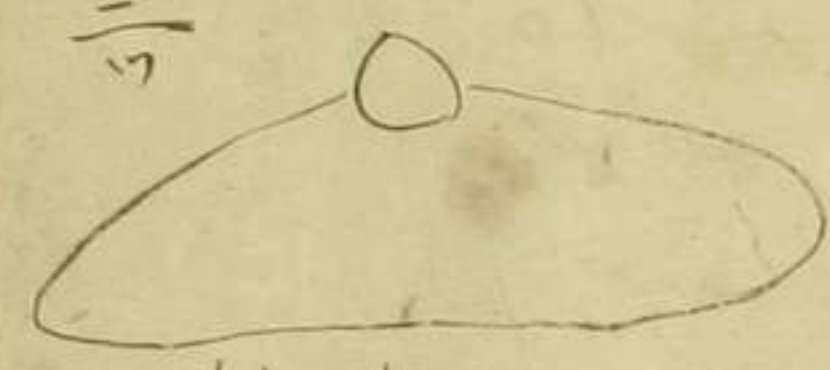


陶器

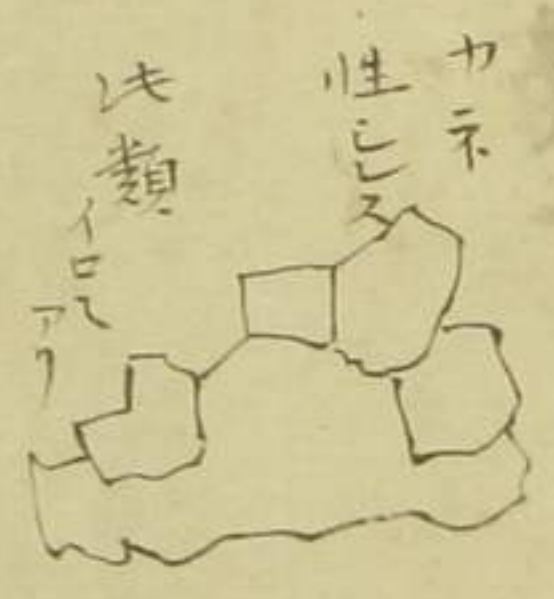


此ノコトキフタニツ

同



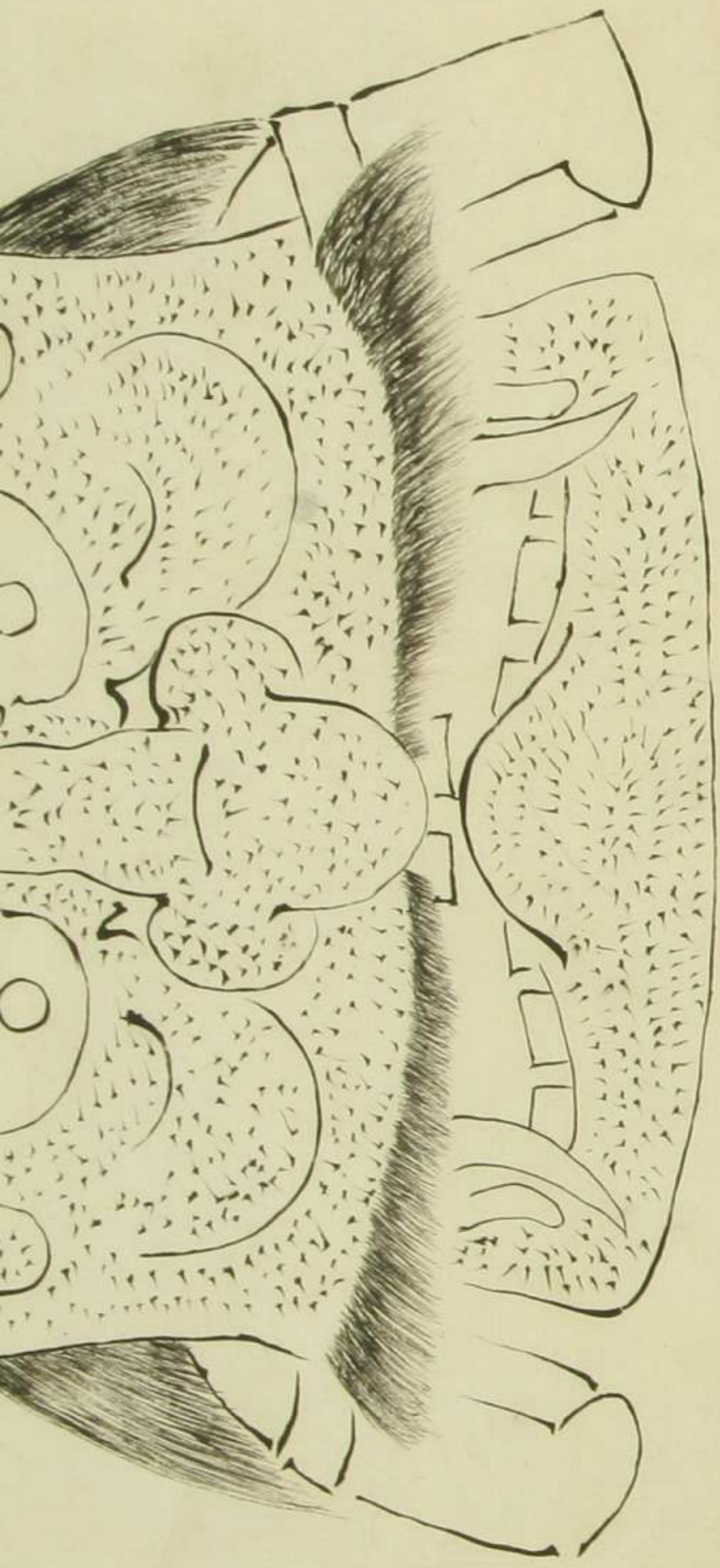
川カハシ



カネ  
性シヌ  
此類  
イロハ

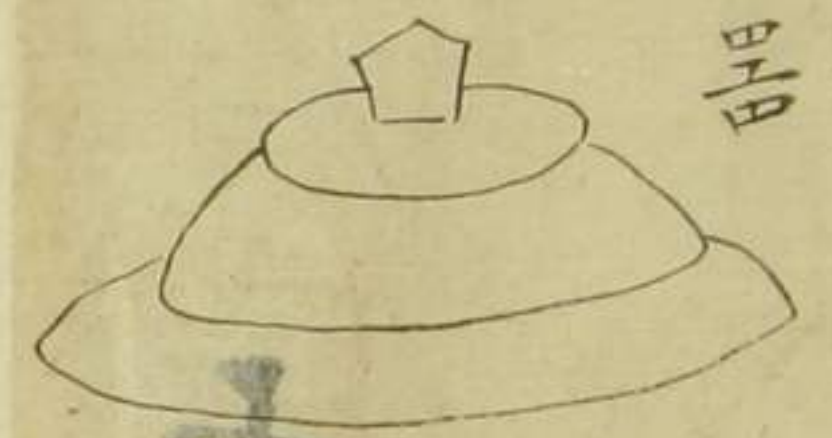
此御覽者上古  
神功皇后三韓御征伐之時所  
与給謂二面御曹者即是而盖  
二千有餘載之舊物也傳蔵于





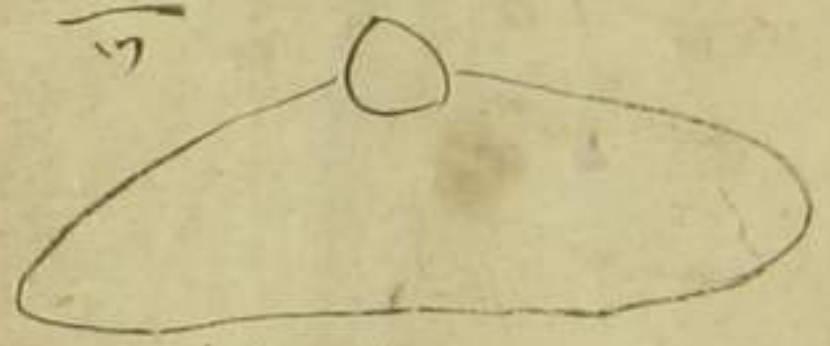
此御兜者上古  
 神功皇后三韓御征伐之時所  
 召給謂二面御曹者即是而盖  
 二千有餘載之舊物也傳藏于  
 豐前國英彦山久矣社司武內  
 紀朝臣義廣自摸其真形既刻  
 行于世焉今茲科野國更級郡  
 佐良志奈神社神主逆五位下  
 藤原朝臣直友甚欽慕之再復  
 刻之更加本宮奉齋祀以  
 太神之尊號揭之於其頂上以  
 贈于四方有信之輩永為開運  
 鎮護云尔  
 嘉永六歲次癸丑  
 春正月

陶器

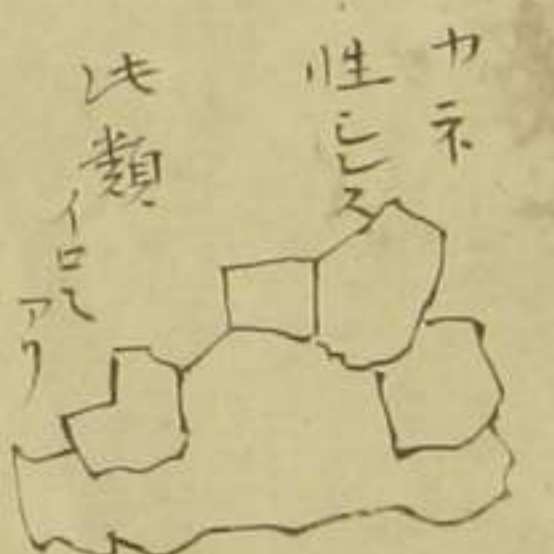


此ノコトキヲタニツ

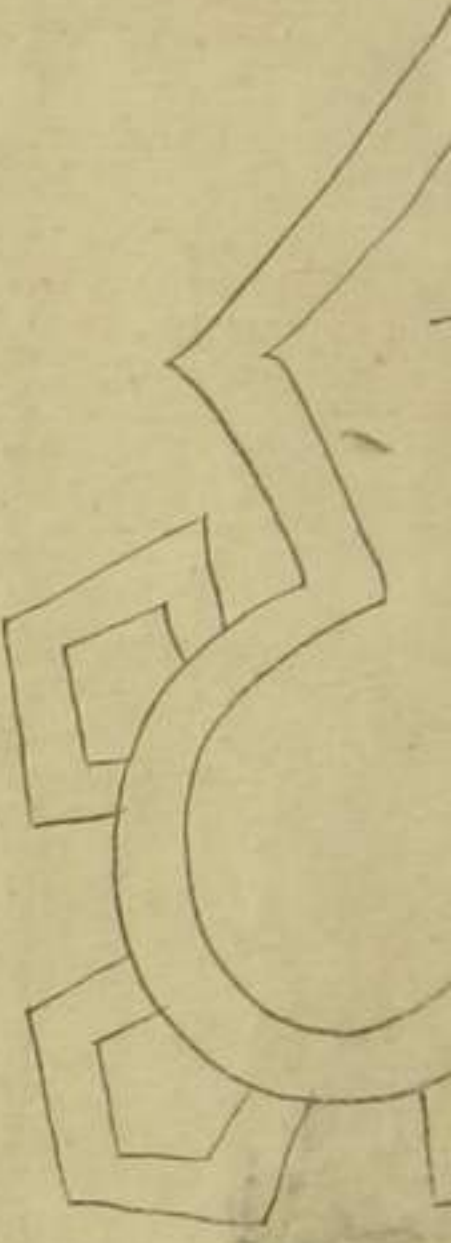
同



川カホシ



カホシ  
 性ニタ  
 決類  
 イロ

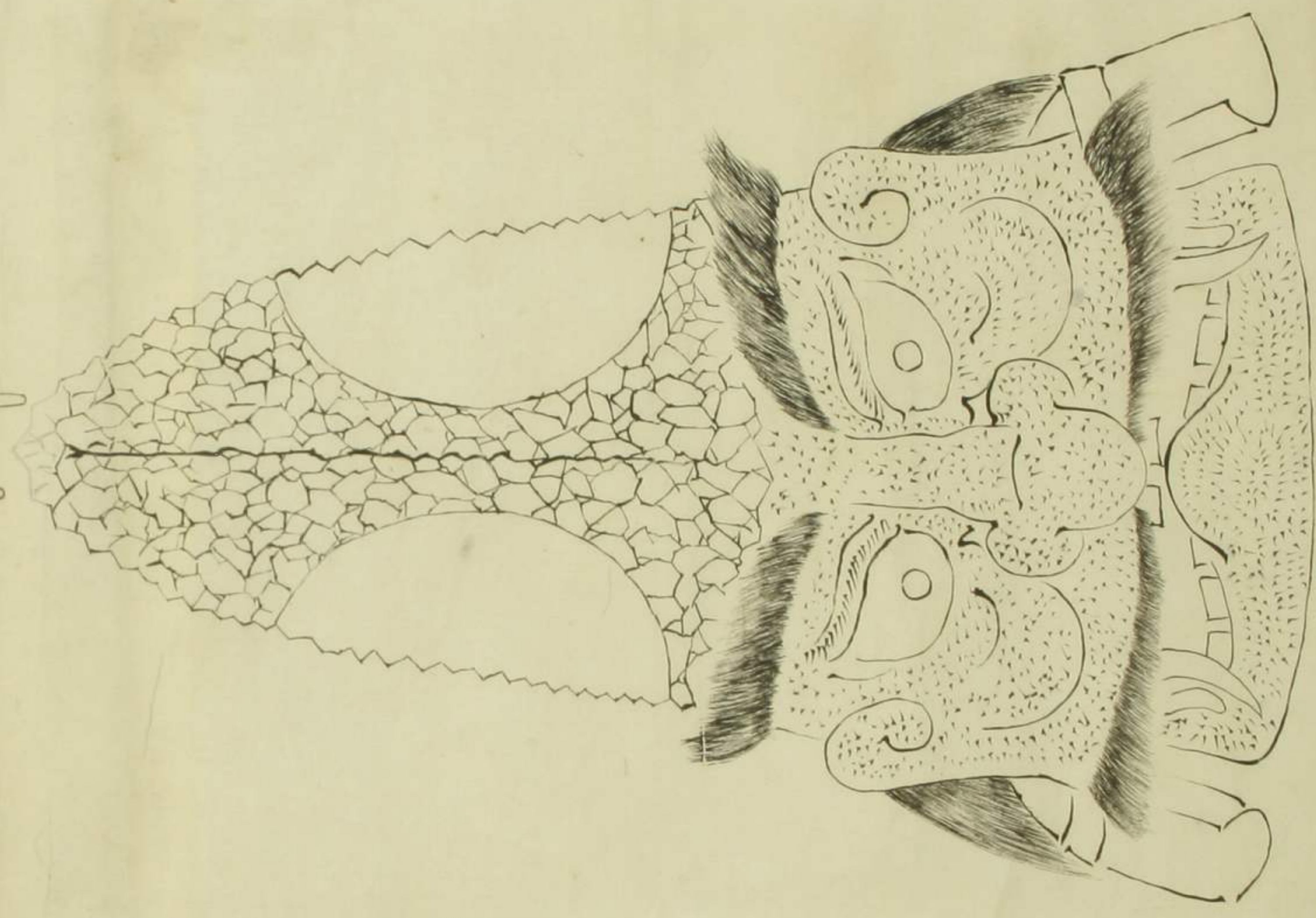


鉄





鎮護云尔昔嘉永六歲次癸丑  
春正月



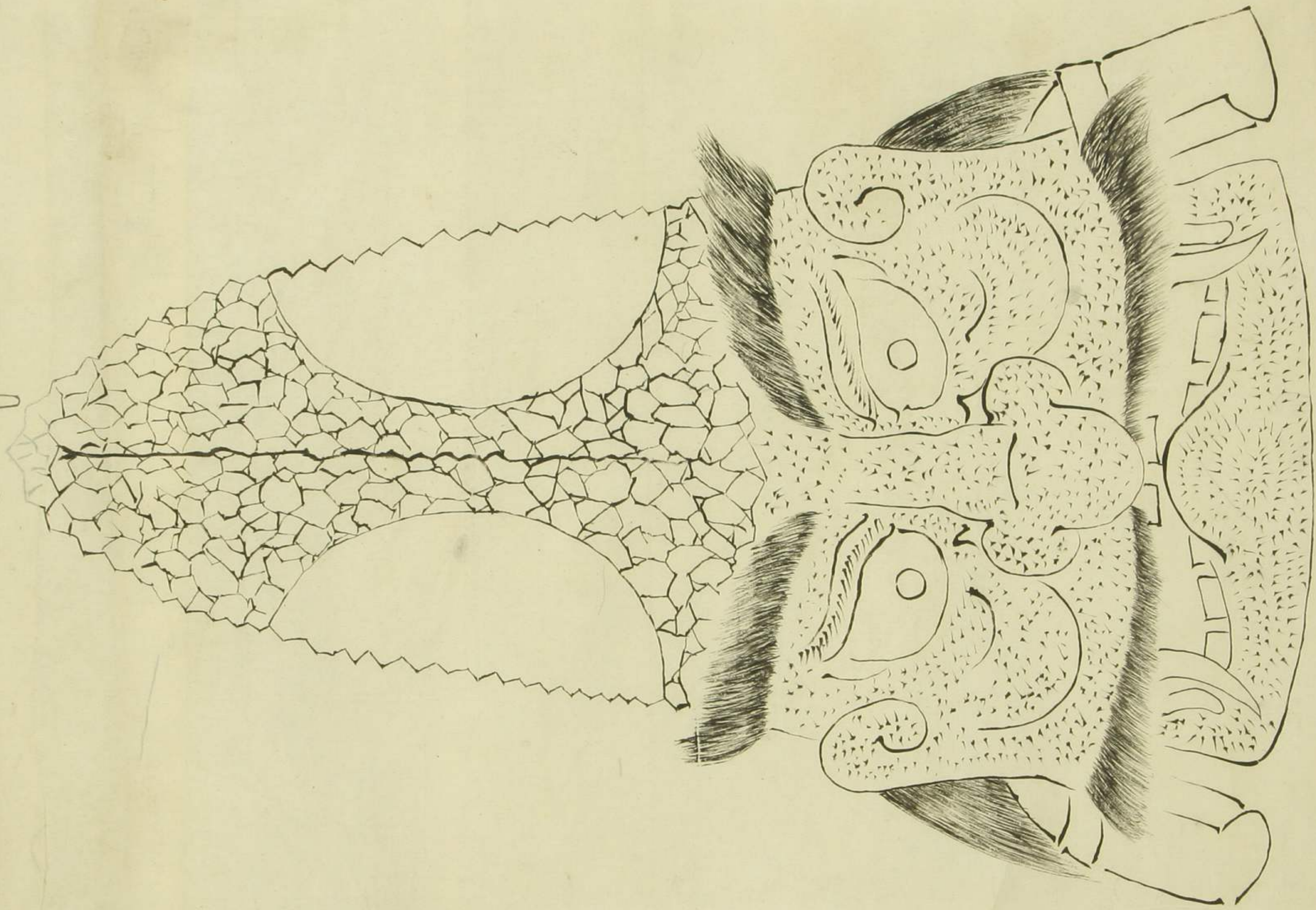
神大權宗權

明治三十四年十月由盛城郡津有在也部新井重明





贈于四方有信之章永隆開選  
鎮護云尔皆嘉永六歲次癸丑  
春正月



神太

田

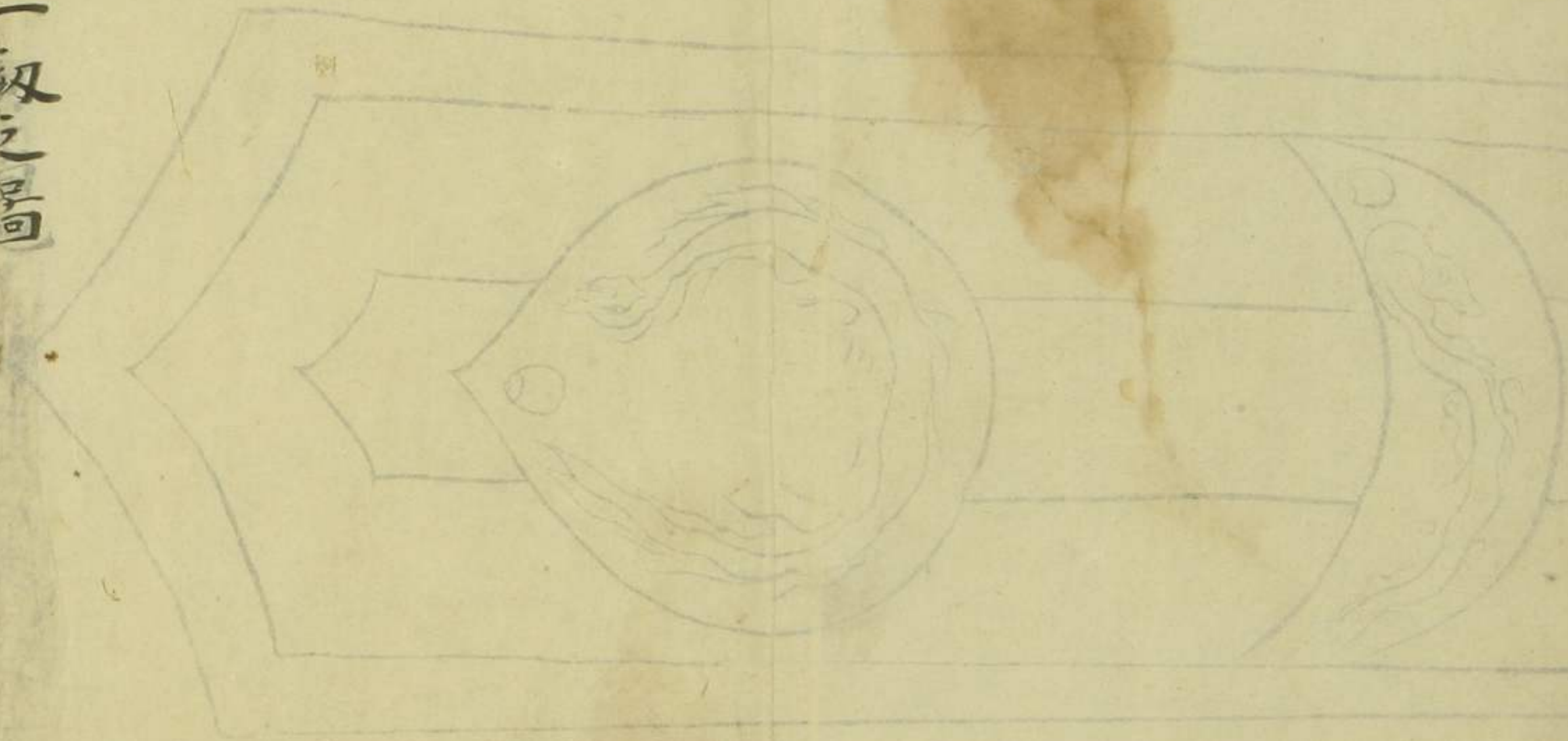






或人之藏畫三種神器之一叙之圖

大業元年



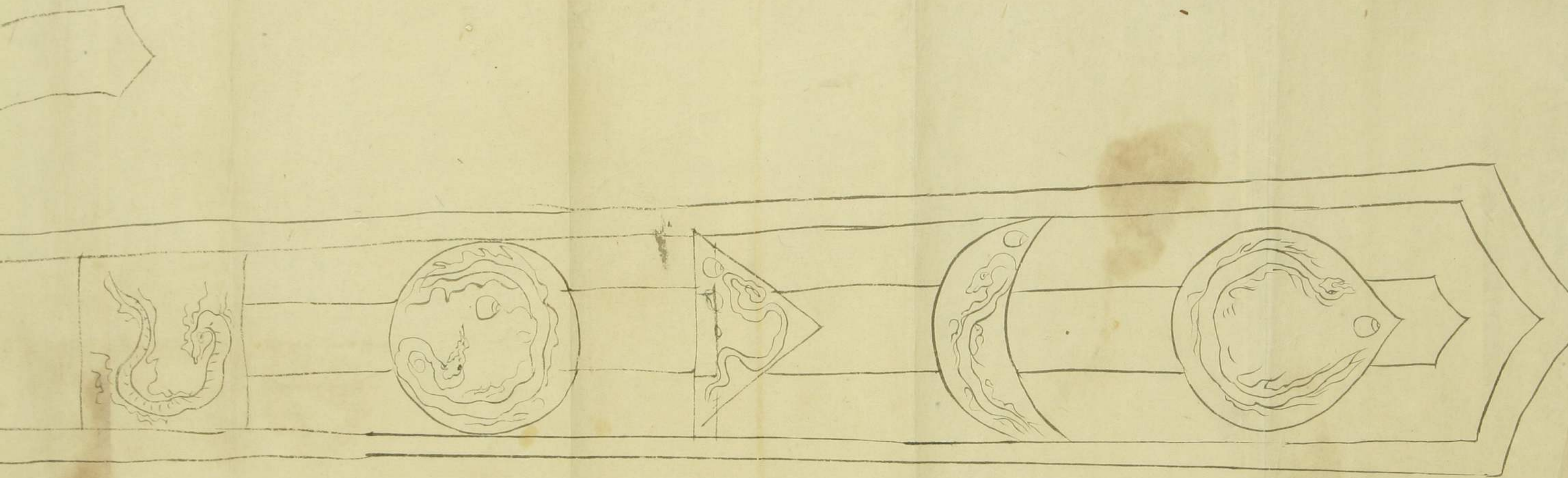






真

洞居三百年有虫窠郡津有柱下池部新井重朗高附





大正八年三月廿七日

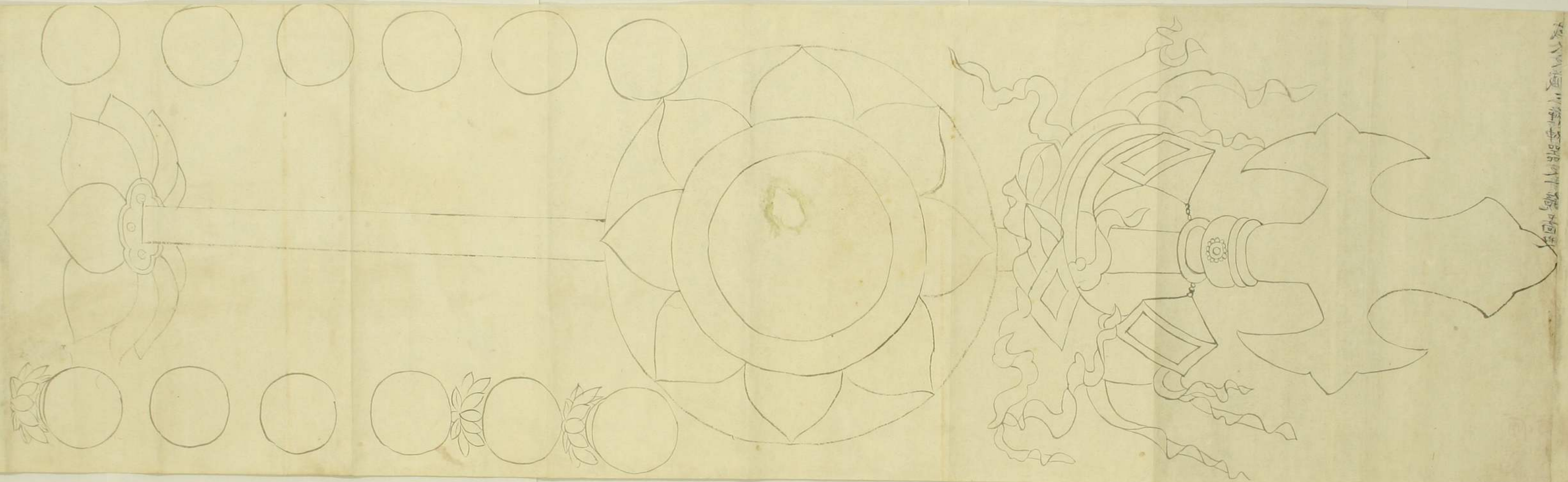




或人之藏圖三種神器之一寶鏡之圖



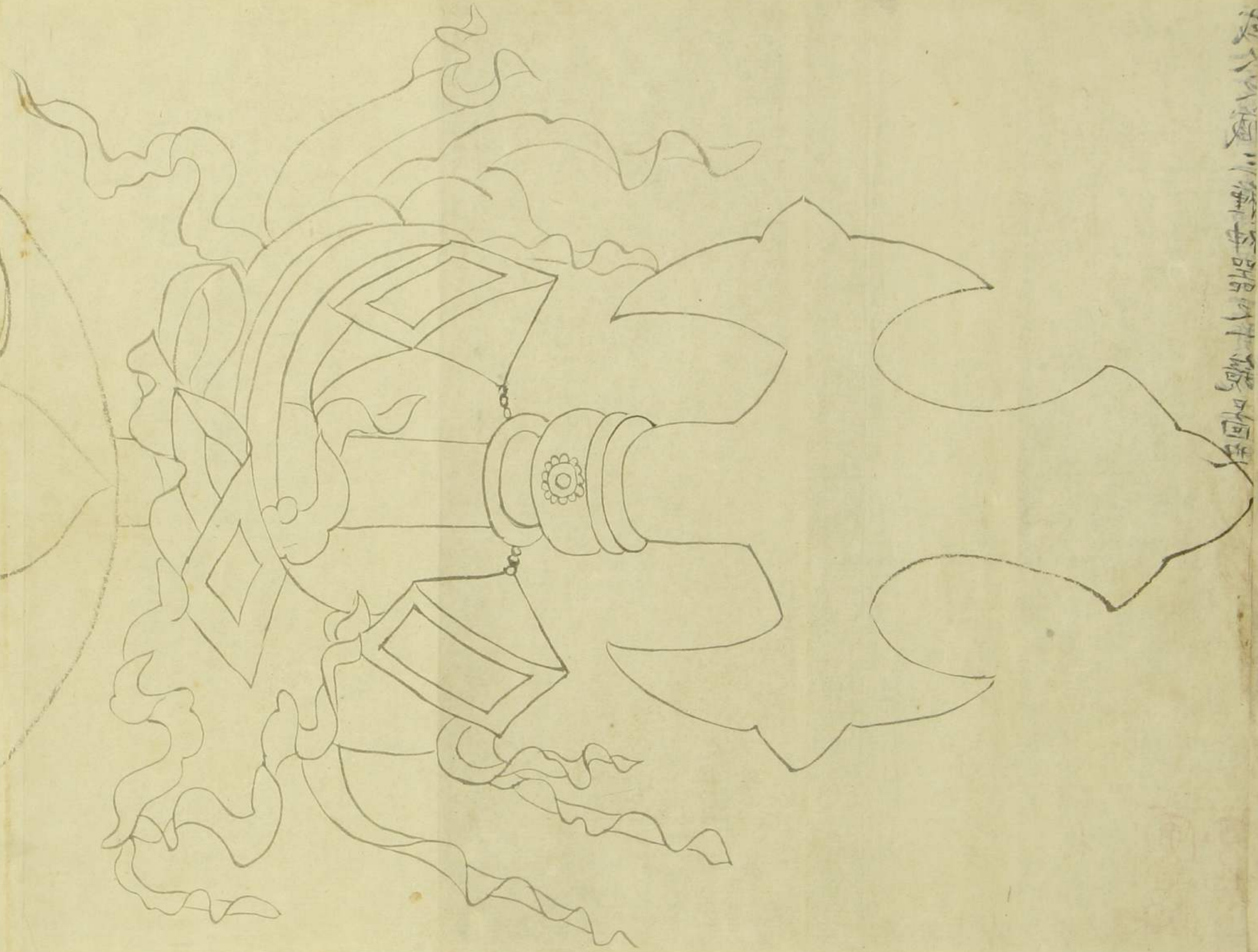
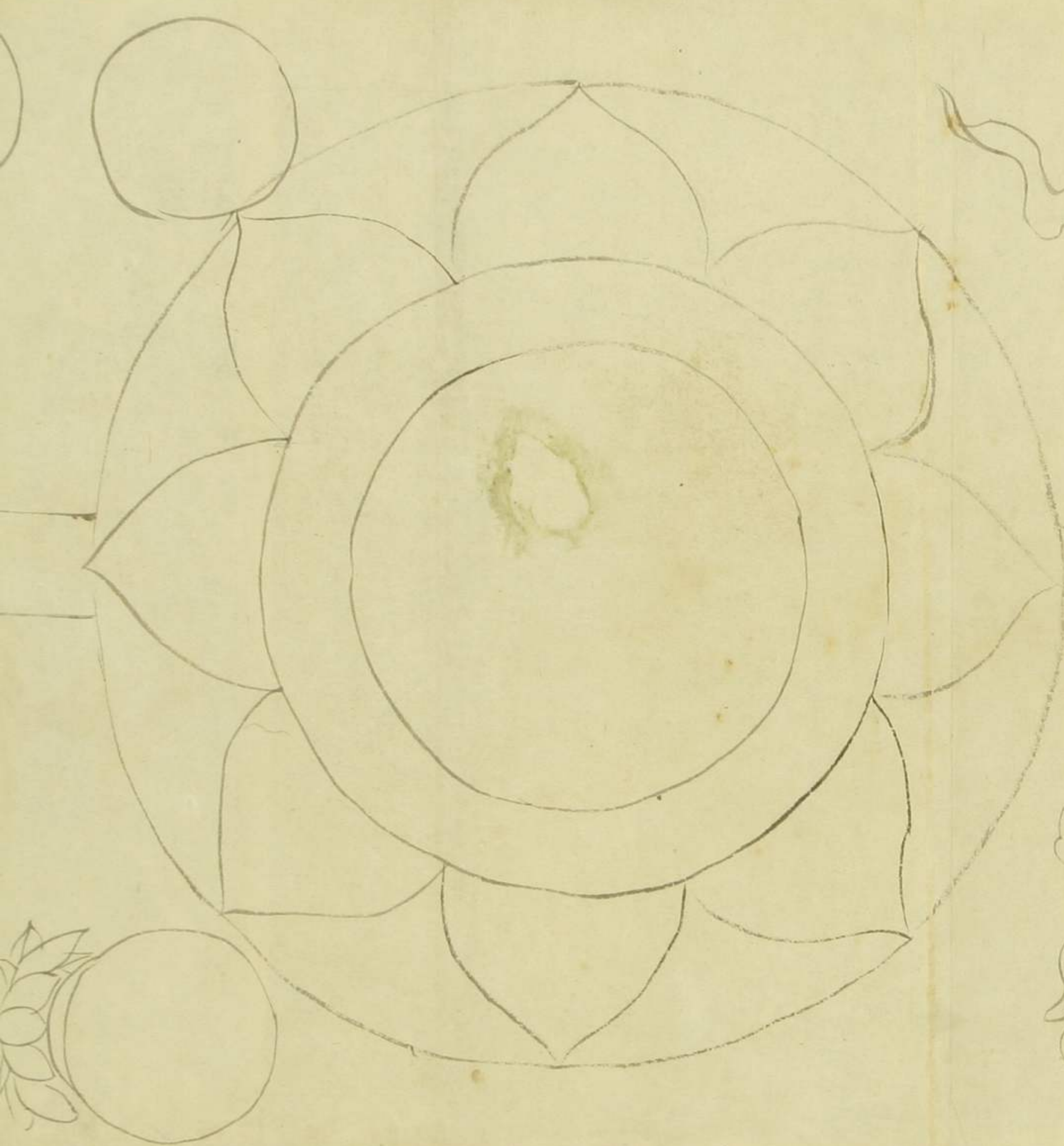




大清宣統三年...







大正八年三月三日



